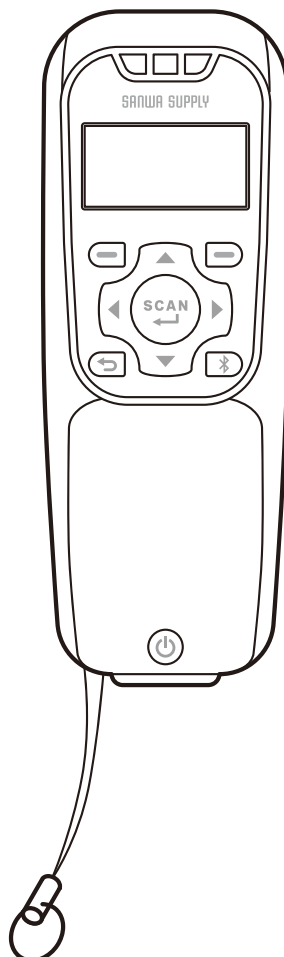


モバイルワイヤレス 2次元バーコードリーダー (液晶付き・照合機能搭載) マスターガイド ver.1.1

※先に製品同梱の **取扱説明書** をご確認ください。



デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。

本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

機能別使用方法

ストラップの使用例

P.18

iPad・iPhoneのキーボード呼び出し P.19

■スキャン機能

スキャンモード設定

P.20

区切り文字設定

P.29

手動入力

P.21

重複読み禁止

P.30

数量入力設定

P.22

データカウント

P.41

時間/日付 付加

P.27

転送確認

P.44

■データ転送

【Bluetooth】

バッチ範囲外

P.46

自動再接続

P.52

コード間の遅延設定

P.53

【USB HIDキーボード】

文字間遅延設定

P.55

【USB Virtual COM】

USB Virtual COM

P.57

【内蔵メモリ】

新規ファイル作成

P.59

ファイルリスト

P.60

ファイル削除

P.62

ファイルの初期化

P.64

初期化

P.66

【データバッチ処理】

バッチデータ送信

P.68

接続方法

P.69

自動消去

P.71

コード間の遅延設定

P.72

[目的別 目次へ](#)

目次

機能別使用方法

■システム設定

Bluetooth P.74

バイブレーション P.82

USB HIDキーボード P.77

ディスプレイ設定 P.83

言語切替 P.78

スリープモード P.85

文字エンコーディング P.79

日時設定 P.86

音の設定 P.80

初期設定 P.88

■システム情報

メモリー使用状況 P.90

本体バージョン情報 P.94

Bluetooth情報 P.92

■データ検証

実行>照合モード選択 P.95

OXひょうじ設定 P.121

実行>詳細設定 P.113

更新 P.122

位置と長さ P.115

PC接続 P.123

方向設定 P.119

バージョン情報 P.126

読み取り停止 P.120

[目的別 目次へ](#)

目的別使用方法

■スキャンの設定 1

▶ スキャン方法を変更する

下記の2通りが選択できます。

- ・通常：1回スキャンボタンを押すとLEDが常に照射され、コードが読み取り範囲に入ると自動で読み取られます。
- ・手動：スキャンボタンを押している時のみLEDが照射され、コードが読み取られるとLEDは消灯します。

スキャンモード設定

P.20

▶ コードを手動で入力する

コード内容を手入力して機器に送信することができます。

手動入力

P.21

▶ スキャン後、確認してから接続機器へコードを出力する

コードスキャン後、機器へ自動出力するか、毎回液晶画面で確認してから出力するか設定することができます。

転送確認

P.44

▶ スキャンしたコードの個数を表示させる

コードを何件スキャンしたか表示させることができます。

データカウント

P.41

目的別使用方法

■スキャンデータ出力設定 2

▶コードの出力回数を指定する

指定した数量分リピートしてコードを出力することができます。

例) 3回 → 1234567890123
1234567890123
1234567890123

数量入力設定

P.22

▶コードの後ろに数値を追加する

指定した数値をコードの後ろに追加して出力することができます。

例) 1234567890123,3

数量入力設定

P.22

▶コードの後ろに時間、日付を表示する

スキャンした時間、日付をコードの末尾に追加して出力することができます。

例) 1234567890123,10:25:45,2026-1-23

時間/日付 付加

P.27

▶区切り文字を設定する

数値表示、時間表示、日付表示の際に間に入る文字を設定できます。

例) 1234567890123&3
1234567890123#10:25:45#2026-1-23

区切り文字設定

P.29

目 的 別 使 用 方 法

■ファイルの管理 1

▶ スキャンデータを保存するファイルを新規作成する

スキャンデータをコードリーダーに保存する際のファイルを作成します。

新規ファイル作成

P.59

▶ ファイルを削除する

作成したファイルの削除を行います。

ファイル削除

P.62

▶ ファイルの内容を削除する

ファイルの内容を全削除します。※ファイルは残ります。

ファイルの初期化

P.64

▶ ファイルを全削除する

内蔵メモリ>ファイルリストのファイルを全削除します。

※「TARGET.TXT」は保存内容は削除されますが、ファイルは残ります。

初期化

P.66

目 次

目 的 別 使 用 方 法

■ファイルの管理 2

▶ スキャンデータを機器に出力後、 コードリーダーからデータを削除する

スキャンデータを機器に出力後、コードリーダーからデータを削除できます。
※初期設定ではデータを出力後もコードリーダー内にデータが残ります。

自動消去

P.71

▶ コードリーダーに保存したファイルを Bluetooth接続機器に出力する際のデータ転送速度を変更する

コードリーダーの保存データを接続機器に送る際の転送速度を設定します。
コード間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。

コード間の遅延設定

P.72

■Bluetooth接続設定 1

▶ 機器との接続モードを設定する

Bluetooth接続、USB有線接続を設定できます。
※機器との接続方法とこの設定が合っていないと、コードリーダーが正常に動作しません。

接続方法

P.69

目的別使用方法

■Bluetooth接続設定 2

▶ Bluetooth接続モードを設定する

Bluetooth接続のモードを下記から選択します。

- ・HID: 対応OSで使用可能
- ・SPP: 専用ソフトウェアが別途必要
- ・BLE Slave: BLEモードしか対応しない機器に使用

※「ベース」「BLE Master」は
本製品では使用しません

Bluetooth

P.74

▶ Bluetooth HIDモードのキーボード配列を設定する

Bluetooth機器と接続した際のキーボード配列を設定します。

Bluetooth

P.74

▶ コードリーダーに保存したデータをBluetoothで送信する

Bluetooth通信でコードリーダーに保存したスキャンデータをファイルごとに機器に送信します。

バッチデータ送信

P.68

▶ Bluetooth接続時のデータ転送速度を変更する

コードリーダーからBluetooth接続機器にデータを送る際の転送速度を設定できます。接続機器のデータ処理能力によりコードとコードの間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。

コード間の遅延設定

P.53

目的別使用方法

■Bluetooth接続設定 3

▶ Bluetooth通信外でスキャンしたコードデータを保存する

Bluetooth接続が切れたままスキャンしてもコードリーダーにスキャンデータを保存して、再度接続後、データを自動で接続機器に出力する設定ができます。

※初期設定ではBluetooth接続が切れた場合、スキャンデータは保存されません。

バッチ範囲外

P.46

▶ Bluetooth自動接続をしない

コードリーダーを起動した際、最後に接続していたBluetooth機器と自動再接続できます。自動再接続をOFFにすることもできます。

自動再接続

P.52

▶ Bluetooth接続機器設定を初期化する

これまでBluetooth接続したことのある機器の登録を全て削除します。

初期設定

P.88

▶ Bluetooth情報を確認する

Bluetoothのバージョンなどを確認できます。

Bluetooth情報

P.92

目次

目的別使用方法

■有線接続設定

▶ 機器との接続モードを設定する

Bluetooth接続、USB有線接続を設定できます。

※機器との接続方法とこの設定が合っていないと、コードリーダーが正常に動作しません。

接続方法

P.69

▶ USB HIDモードのキーボード配列を設定する

有線接続した際のキーボード配列を設定します。

USB HIDキーボード

P.77

▶ USB接続時のデータ転送速度を変更する

コードリーダーからUSB接続機器にデータを送る際の転送速度を設定できます。接続機器のデータ処理能力によりコードとコードの間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。

文字間遅延設定

P.55

目 次

目 的 別 使 用 方 法

■機器接続設定

▶記録メディアとして機器に接続する

付属のケーブルを使用して記録メディアとして機器と接続することができます。

PC接続

P.123

■照合機能 1

▶照合機能のモードを変更する

複数コードを読み取る際に元のコードと同じものかどうか下記の3つの照合モードから行うことができます。

- ・ホストコード1つに対してスレーブコード1つが照合できるモード、
 - ・ホストコード1つに対して複数のスレーブコードを連続して照合できるモード、
 - ・複数のホストコードに対して複数のスレーブコードを連続して照合できるモード
- から選択することができます。



データベースとして使用するIDXファイルの名称は「BT2D16」にしてください。
照合モードが使用できなくなります。

実行>照合モード選択

P.95

▶照合機能の詳細設定をする

「位置と長さ」「方向」「読み取り停止」「○×表示」の設定が変更できます。

実行>詳細設定

P.113

目次

目的別使用方法

■照合機能 2

▶ 照合機能の位置と長さを設定する

コード中の何桁目から何桁目までを照合対象にするのか具体的に設定できます。

位置と長さ

P.115

▶ 照合機能の読み取る方向を設定する

照合するコードの文字列を読み込む方向を「左から右」か、「右から左」か選べます。

方向設定

P.119

▶ 照合機能のスキャン停止方法を設定する

照合失敗した（ホストコードとスレーブコードが相違がある）場合、続けてスキャンを続けるか、照合モードを終了するか設定できます。

読み取り停止

P.120

▶ 照合機能の○×表示を設定する

照合結果画面で○×の表示・非表示が選べます。

OXひょうじ設定

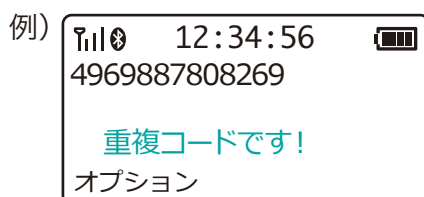
P.121

目 的 別 使 用 方 法

■重複読み取り禁止機能

▶ 重複読み取り禁止設定をする

同じコードをスキャンするとアラートが表示され、出力をしない設定ができます。



重複読み禁止

P.30

■本体の設定 1

▶ 液晶画面の明るさを調整する

液晶画面の明るさを設定できます。

ディスプレイ設定

P.83

▶ スリープするまでの時間を設定する

操作しなくなってスリープモードに入るまでの時間を設定できます。

スリープモードなしにすることもできます。

スリープモード

P.85

目 次

目 的 別 使 用 方 法

■本体の設定 2

▶ 時間、日付を設定する

液晶画面に表示される時刻、年月日を設定できます。

日時設定

P.86

▶ コードリーダーを初期化する

コードリーダー本体を出荷状態に戻すことができます。

初期設定

P.88

▶ メモリー使用状況を確認する

内蔵メモリーの使用容量を確認できます。メモリーを全削除することもできます。

メモリー使用状況

P.90

▶ 本体バージョン情報を確認する

コードリーダーの名称やファームウェアの情報を確認できます。

本体バージョン情報

P.94

目次

目的別使用方法

■本体の設定 3

▶ 本体バージョン情報を確認する

コードリーダーのバージョン情報を確認できます。

バージョン情報

P.126

▶ 言語を変更する

液晶画面に表示される言語を設定できます。

言語切替

P.78

▶ スキャンコードのエンコード形式を変更する

スキャンコードのエンコード形式を設定できます。※初期設定はUTF-8です。

文字エンコーディング

P.79

▶ ビープ音の音量を調整する

起動時、スキャン時のビープ音のボリュームを設定できます。

ビープ音をOFFにすることもできます。

音の設定

P.80

機能別 目次へ

目次

目的別使用方法

■本体の設定 4

▶ 操作音を無音にする

操作音をON・OFFすることができます。

音の設定

P.80

▶ スキャン時のバイブレーションの強さを調整する

読み取りの際のバイブレーションの強さを調整します。

バイブレーションなしにすることもできます。

バイブレーション

P.82

▶ 液晶画面が暗くなるまでの時間を設定する

操作後、液晶画面が暗くなるまでの時間を設定できます。

ディスプレイ設定

P.83

目 次

目 的 別 使 用 方 法

■その他の機能

▶ ネックストラップやネームホルダーを取付けたい

付属のストラップ先端に別売りのネームホルダーやキーホルダーなどを取付けられます。

ストラップの使用例

P.18

▶ コードリーダーを操作して iPad・iPhoneのキーボードを表示させる

iPad・iPhoneのキーボードの呼び出しが可能です。

コードを読み取った後、手入力が必要な場合に便利です。

iPad・iPhoneのキーボード呼び出し

P.19

▶ USB COMで接続する場合

USB COMで接続する必要がある場合、「USB Virtual COM」の設定を行います。

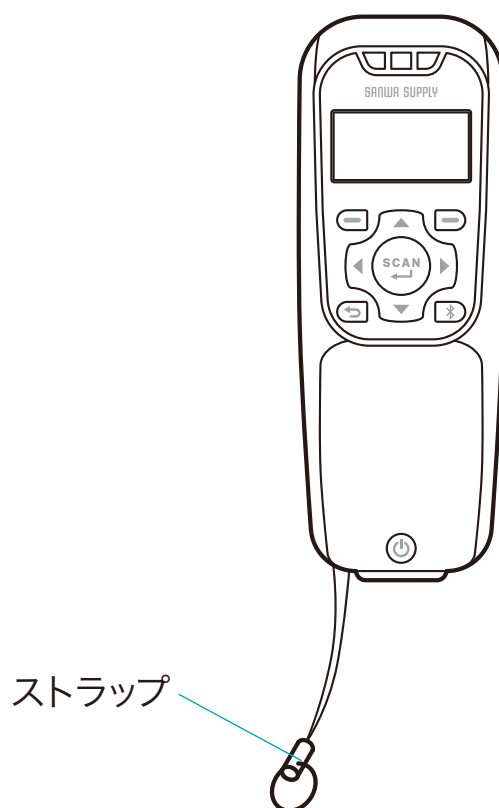
(別途ソフトウェアが必要になる場合がありますので、ソフトウェアが必要な場合はご用意ください)

USB Virtual COM

P.57

ストラップの使用例

付属のストラップ先端に別売りのネームホルダーやキーホルダーなどを取付けられます。



使用例

例1)

ネックストラップを
取付ける



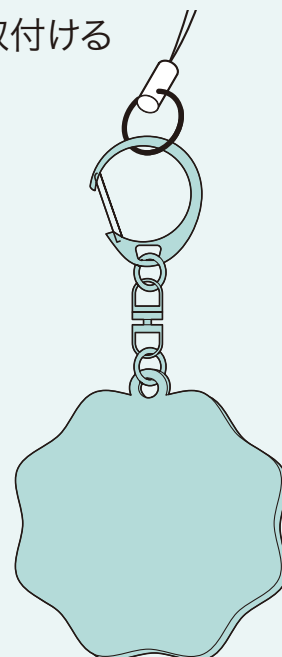
例2)

ネームホルダーを
取付ける



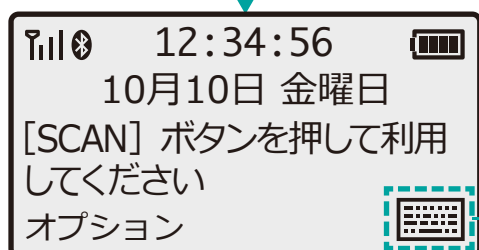
例3)

キーホルダーを
取付ける



iPad・iPhoneのキーボード呼び出し

iPad・iPhoneのキーボードの呼び出しが可能です。コードを読み取った後、手入力が必要な場合に便利です。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

このアイコンが出ている時、

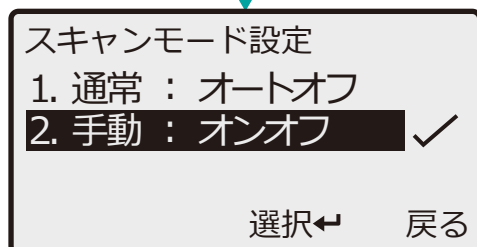
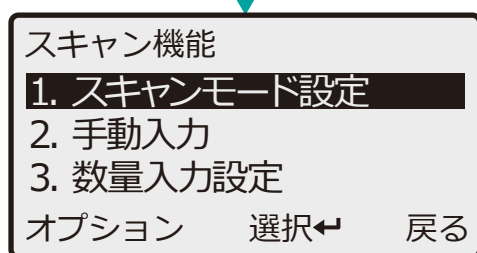
 ボタンで接続中のiPad・iPhoneのキーボードを呼び出すことができます。



例) iOS 26

スキャンモード設定

コードを読み取る際のモードを「通常」「手動」から選択することができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「1.スキャンモード設定」を選択します。

スキャンモードを設定します。



 ボタンを押してカーソルを動かします。



 ボタンを押して文字を入力します。

1.通常:オートオフ

1回スキャンボタンを押すとLEDが常に照射され、コードが読み取り範囲に入ると自動で読み取られます。

2.手動:オンオフ

スキャンボタンを押している時のみLEDが照射され、コードが読み取られるとLEDは消灯します。

手動入力

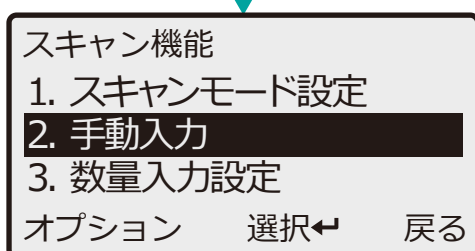
コード内容を手入力して機器に送信することができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「2.手動入力」を選択します。



コード内容を入力します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



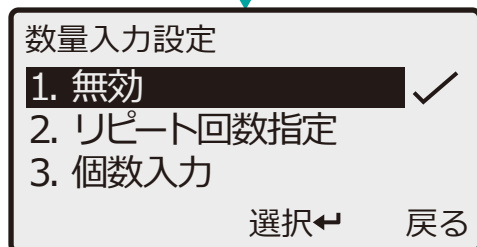
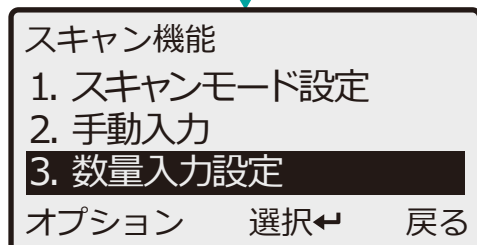
ボタンを押して文字を入力します。



接続機器に入力したコード内容が送信されます。

数量入力設定

指定した数量分リピートしてコードを出力、または指定した数値をコードの後ろに追加して出力することができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「3.数量入力設定」を選択します。



設定します。

ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.無効

リピート出力しません。(出力1回のみ)

2.リピート回数指定

指定した回数分、データを出力します。→使用例:P.23

3.個数入力

コード末尾に数値を追加して1回出力します。→使用例:P.25

数量入力設定 続き

■使用例:4回リピート出力したい場合

例)

4969887808269
4969887808269
4969887808269
4969887808269

数量入力設定

1. 無効
2. リピート回数指定 ☒
3. 個数入力

選択 ← 戻る

2回押す

ホーム 1/5

123
スキャン機能

オプション

SCAN 押す

12:34:56 10月10日 金曜日
[SCAN] ボタンを押して利用
してください
オプション

12:34:56

4969887808269

キャンセル 承認 1

押す

「2.リピート回数指定」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してカーソルを動かし、「2.リピート回数指定」にチェックを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

数量入力設定 続き



入力したら  押す



接続機器にコードが指定回数分送信されます。



リピート回数を入力します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

液晶画面に設定したリピート回数が表示されます。

数量入力設定 続き

■使用例:コードの末尾に「4」を追加して出力したい場合

例)

4969887808269	,4
コード	追加した 数値

数量入力設定

- 1. 無効
- 2. リピート回数指定
- 3. 個数入力 ☒

選択 ← 戻る

2回押す

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション

SCAN 押す

12:34:56 10月10日 金曜日

[SCAN] ボタンを押して利用
してください

オプション

12:34:56

4969887808269 ,1

キャンセル 承認 1

押す

「3.個数入力」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してカーソルを動かし、「3.個数入力」にチェックを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



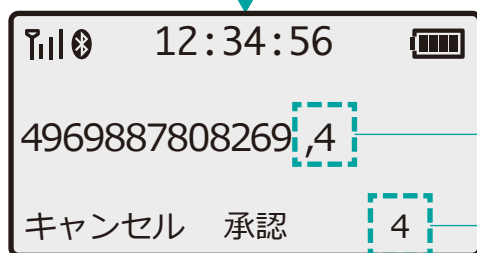
ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードの末尾に数値が入って
液晶画面に表示されます。

数量入力設定 続き

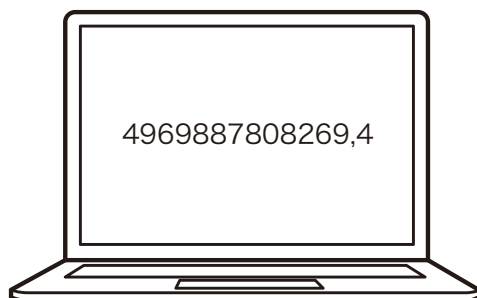


入力したら  押す



押す

接続機器に末尾に数値が追加されて1回送信されます。



コードの末尾に追加する数値を入力します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

液晶画面に設定し数値が表示されます。

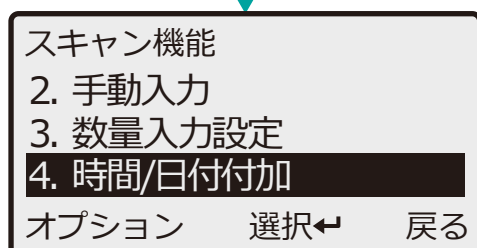
コードと末尾の数値の間の文字は変更できます。→区切り文字設定 P.29

時間/日付 付加

スキャンした時間、日付をコードの末尾に追加して出力することができます。

例)

1234567890123,10:25:45,2026-1-23
コード 時間 日付



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「4.時間/日付付加」を選択します。

時間/日付 付加 続き

事前にシステム設定による日時の設定を行ってください。→日時設定 P.86

時間/日付付加

1. 無効



2. 時間

3. 日付

選択←

戻る

時間/日付付加の設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.無効

時間・日付を追加しません。

2.時間

スキャンした時間をコードの末尾に追加して出力します。

例) 1234567890123,10:25:45

3.日付

スキャンした年月日をコードの末尾に追加して出力します。

例) 1234567890123,2026-1-23

4.日時設定

スキャンした時間、年月日をコードの末尾に追加して出力します。

例) 1234567890123,10:25:45,2026-1-23

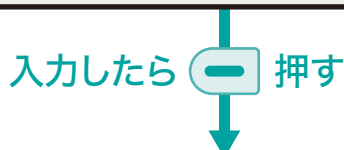
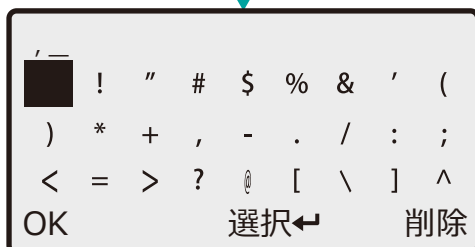
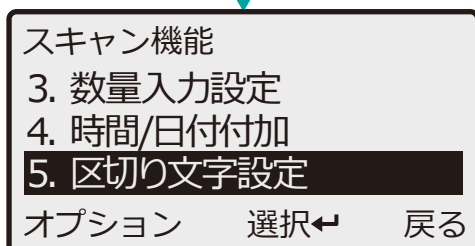
コードと末尾の数値の間の文字は変更できます。→区切り文字設定 P.29

区切り文字設定

数値表示、時間表示、日付表示の際に間に入る文字を設定できます。

例)

4969887808269 ,4
区切り文字



数値表示、時間表示、日付表示を設定時に読み込んだコードの区切り文字が変更されます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「5.区切り文字設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して文字を入力します。

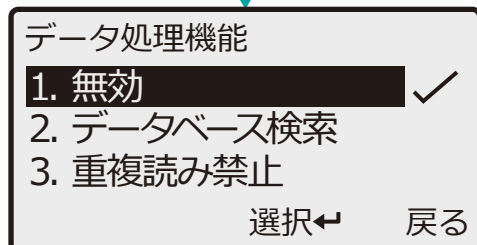
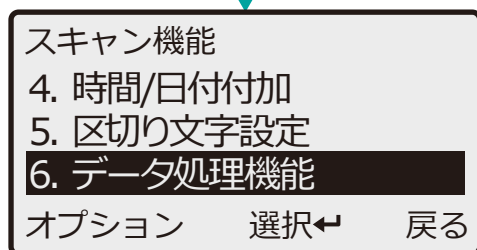


ボタンを押すと入力した文字を消します。

新しい区切り文字を設定します。

重複読み禁止

同じコードをスキャンするとアラートが表示され、出力をしない設定ができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「6.データ処理機能」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

重複読み禁止の設定をします。

1.無効

重複禁止の設定をしません。(同じコードを2回読んでも出力します。)

2.データベース検索

読み込んだコードがコードリーダーに保存された「.IDX」ファイル内にある場合、液晶画面に表示されます。ない場合、「該当レコードなし!」と表示されます。

→IDXファイル作成方法:P.31 →使用例:P.38

3.重複読み禁止

読み込んだコードが重複禁止のリストとして追加されていきます。

リスト内と同じコードが読み込まれると「重複コードです!」と表示され、出力されません。ファイルをクリアすると記録された重複禁止リストがリセットされます。

→使用例:P.39

重複読み禁止 続き

■IDXファイル作成方法(Windowsのみ)：

- 1 パソコンでExcelファイルを新規作成します。
下記に従って必要なデータを入力してください。

	A	B
1	コード	品番
2	1234567890	BCR-BT2D16
3	2345678901	BCR-BT2D15
4	3456789012	BCR-BT2D14
5	4567890123	BCR-BT2D13
6	5678901234	BCR-BT2D12

1行目にはコードデータを入れないでください。
タイトルなどを入れるか、
または空欄にしてください。

B列目は空欄にしないでください。
A列目と同じコードを読み込んだ場合
(重複した場合)、
B列目入力した文字列が画面に表示されます。
コードの説明や「OK」などを入れてください。

A列目に重複読みをチェックしたい
コードデータを入れます。

- 2 Excelで「名前を付けて保存」から保存フォーマットを「CSV」にします。



① CSV(コンマ区切り)(*.csv) を選択

② CSVファイルを保存する場所を選択

③ クリックして保存

※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

重複読み禁止 続き

3 弊社WEBサイトより「MS3 Database」の
ドライバーをパソコンにダウンロードしてください。



1 弊社WEBサイト検索画面で
「BCR-BT2D16」を検索



2 「ソフト・ドライバー」のアイコンをクリック



3 ダウンロード要件を確認してクリック



4 注意事項を確認してクリック

※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

機能別 目次へ

目的別 目次へ

重複読み禁止 続き



5 使用許諾を確認してクリック

4 「MS3 Database.exe」を開きます。
指示に従ってインストールしてください。



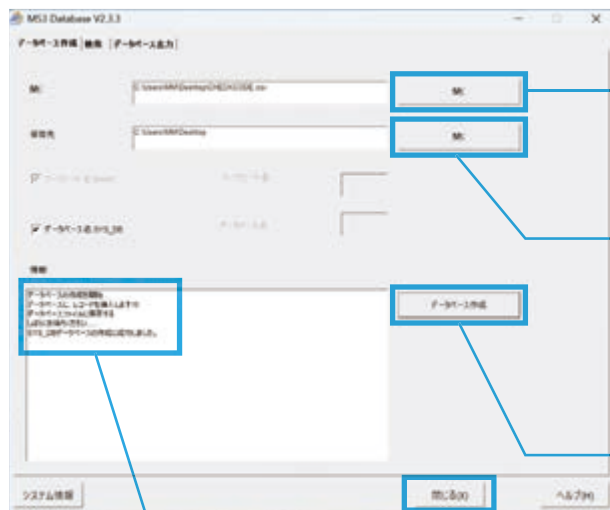
※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

機能別 目次へ

目的別 目次へ

重複読み禁止 続き

- 5** 「MS3 Database」を立ち上げます。
下記の順で設定してIDXファイルを作成します。



- ① クリックして先ほど保存したCSVファイルを選択します。
- ② クリックして後で作成されるIDXファイルとDATファイルの保存先を選択します。
- ③ クリックしてIDXファイルを作成します。
- ④ IDXファイルの作成が成功すると「SYS_DBデータベースの作成に成功しました。」と表示されて「保存先」に設定した場所にIDXファイル、DATファイルが作成されます。
- ⑤ 閉じます

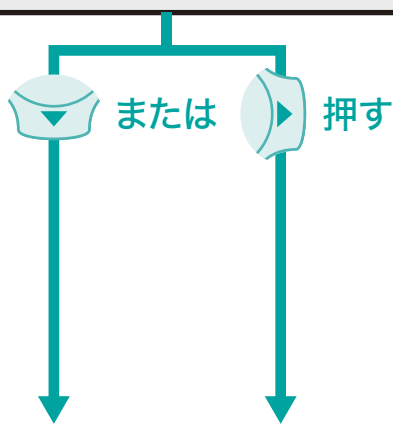


- 6** コードリーダーを操作します。



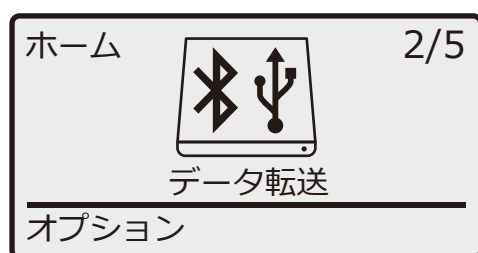
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

重複読み禁止 続き



「データ転送」画面に移ります。

「4.内蔵メモリ」にチェックを入れます。



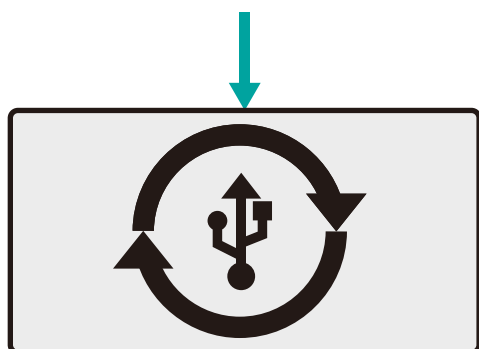
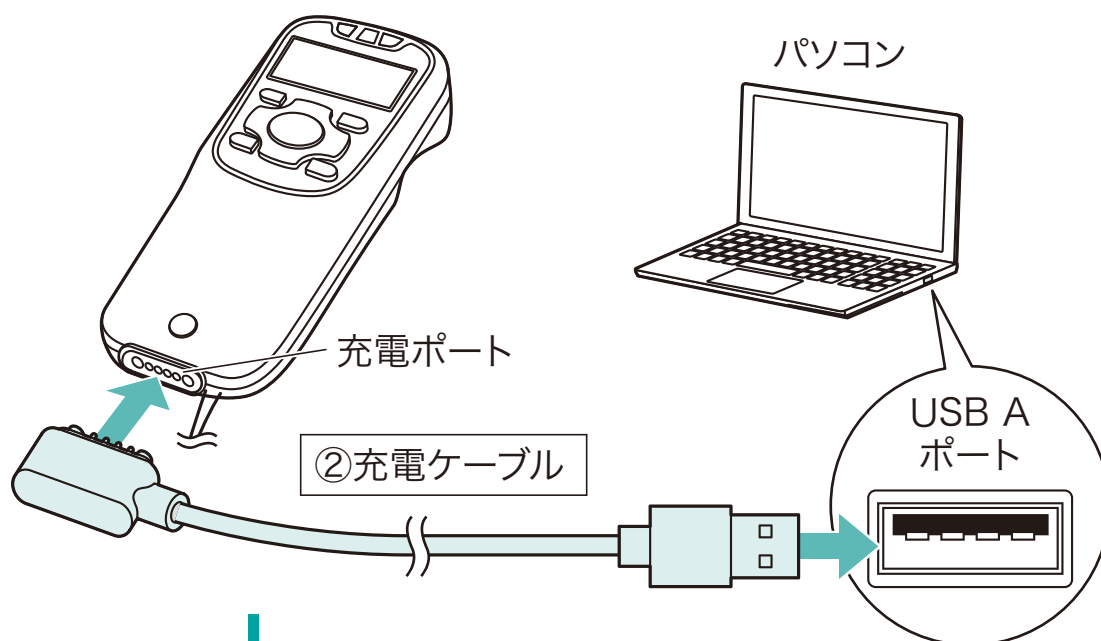
ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

7

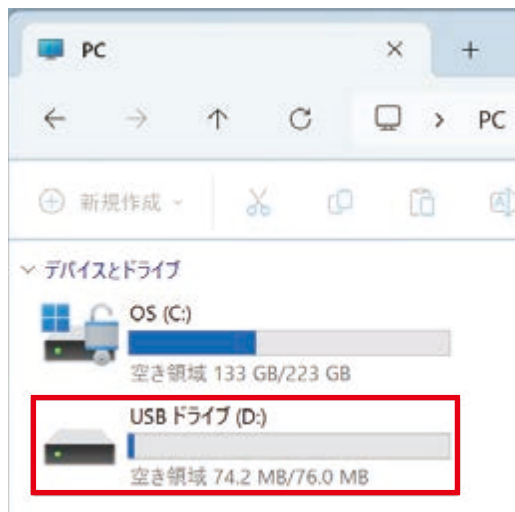
コードリーダーを付属の充電ケーブルでパソコンと接続します。



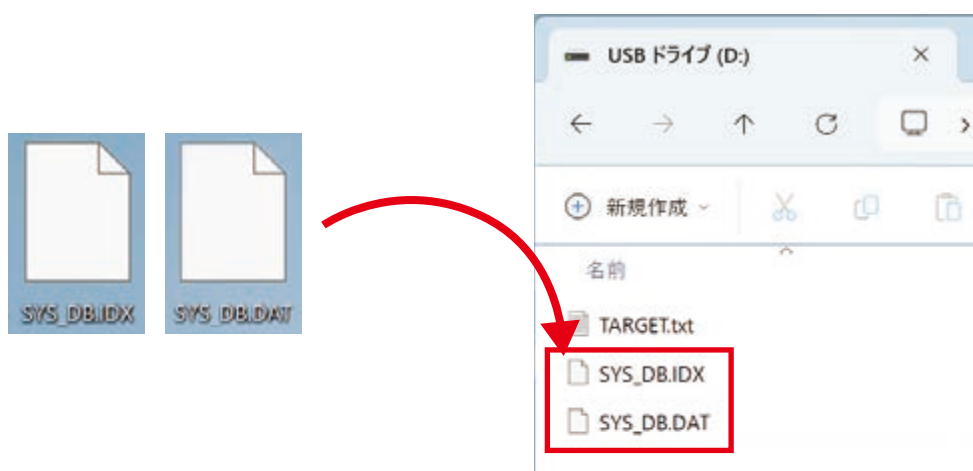
機器に記録メディアとして接続します。

重複読み禁止 続き

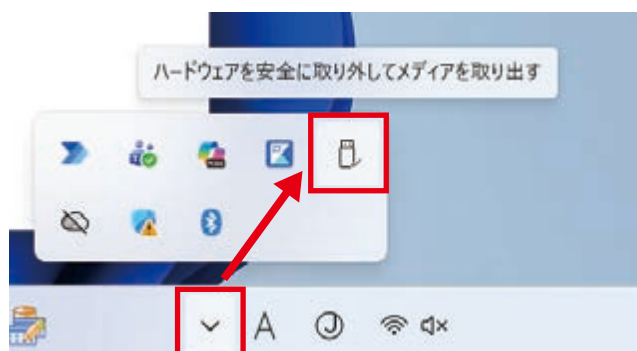
- 8 パソコンを操作します。
マウントされたコードリーダーを選択してください。



- 9 先ほど作成したDATファイルとIDXファイルをコードリーダーに入れてください。



- 10 パソコンからコードリーダーを取出します。



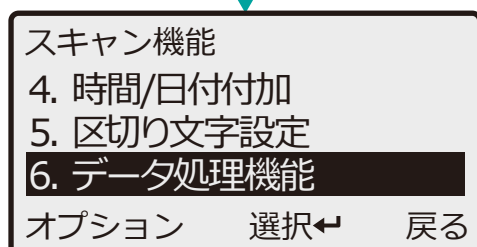
※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

重複読み禁止 続き

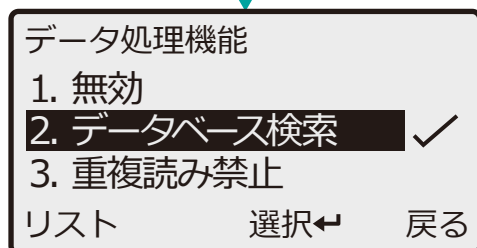
- 11** コードリーダーを操作します。
下記の手順でIDXファイルを確認できます。



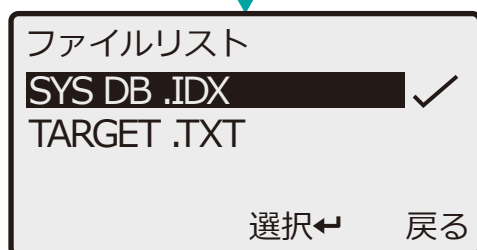
 押す



 押す



 押す



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「6.データ処理機能」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

先ほど入れたIDXファイルが表示されます。

重複読み禁止 続き

■使用例:データベース(保存したIDXファイル)と 同じコードを読み込むとアラートが出る設定にする

例)

12:34:56

4969887808269

<BCR-BT2D16>

重複コードです!

オプション

データ処理機能

1. 無効

2. データベース検索 ✓

3. 重複読み禁止

消去 選択← 戻る

2回押す

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション

SCAN 押す

12:34:56

10月10日 金曜日

[SCAN] ボタンを押して利用
してください

オプション

12:34:56

4969887808269

<BCR-BT2D16>

重複コードです!

オプション

「2.データベース検索」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してカーソルを動かし、
「2.データベース検索」にチェックを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

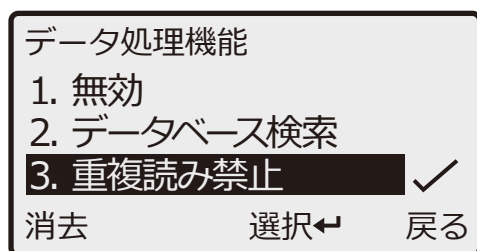
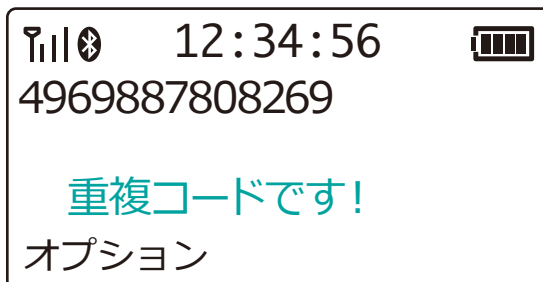
読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

保存したIDXファイルにすでにコードがある場合、「重
複コードです!」のアラートが表示されて機器に出力
されません。

重複読み禁止 続き

■使用例:同じコードを2回読み込むとアラートが出る設定にする

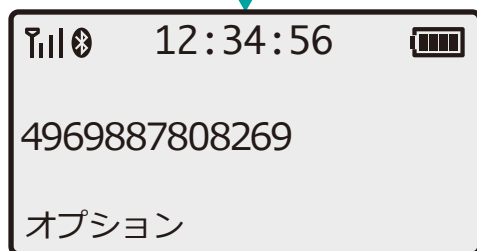
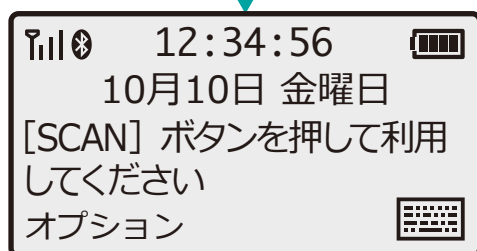
例)



2回押す



SCAN 押す



「3.重複読み禁止」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してカーソルを動かし、「3.重複読み禁止」にチェックを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

初めてのコードの場合、重複禁止リストに追加されて機器に送信されます。

続けてコードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

[機能別 目次へ](#)

[目的別 目次へ](#)

重複読み禁止 続き

12:34:56
4969887808269

重複コードです！
オプション



読み取ったコードが液晶画面に表示されます。
重複禁止リストにすでにコードがある場合、「重複コードです！」のアラートが表示されて機器に出力されません。

続けてコードがスキャンできます。

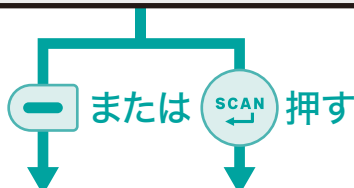
その後も初めてのコードは重複禁止リストに追加されて機器に送信され、同じコードを2回目以降読み込んだ場合はアラートが表示されて機器に出力されません。

■使用例: 重複禁止リストをリセットする

データ処理機能

1. 無効
2. データベース検索
3. 重複読み禁止 ✓

消去 選択 ← 戻る



注意: ファイルをクリアしますか?

はい いいえ

「3. 重複読み禁止」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してカーソルを動かし、「3. 重複読み禁止」にチェックを入れます。



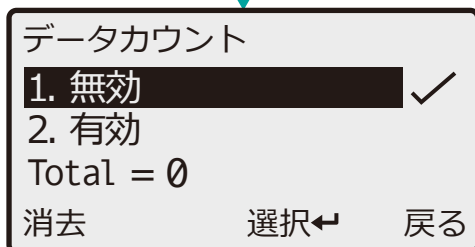
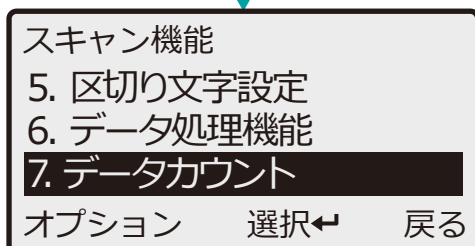
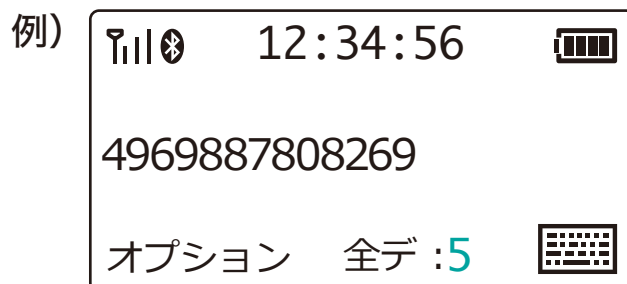
ボタンを押して重複禁止リストをリセットします。



ボタンを押してキャンセルできます。
前の画面に戻ります。

データカウント

コードを何件スキャンしたか表示させることができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「7.データカウント」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



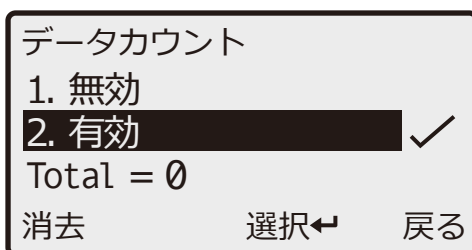
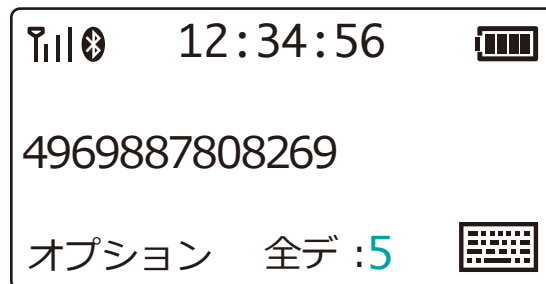
ボタンを押してチェックマークを入れます。

- 1.無効** コード件数をカウントしません。
- 2.有効** コード件数をカウントします。→使用例:P.42
- Total=0** 現在カウントされている数値が表示されます。

データカウント 続き

■使用例:コード件数をカウントする

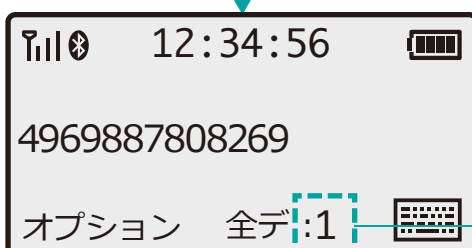
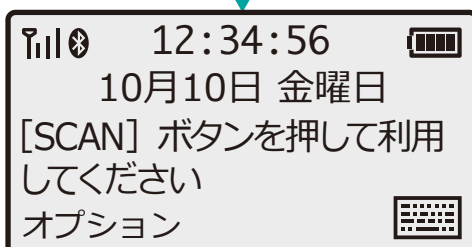
例)



2回押す



SCAN 押す



「7.データカウント」の「2.有効」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してカーソルを動かし、「2.有効」にチェックを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

液晶画面に読み込んだコードの件数が表示されます。

データカウント 続き

■使用例:カウントをリセットする

データカウント

1. 無効 ☒ ✓

2. 有効 ☐

Total = 5

消去 選択← 戻る



注意:カウントをクリアしますか?

はい いいえ

「7.データカウント」画面に移ります。

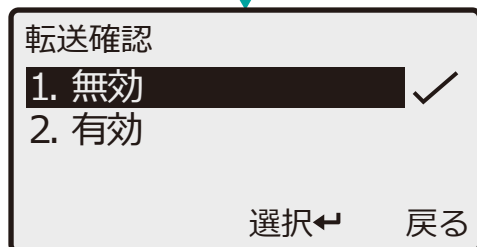
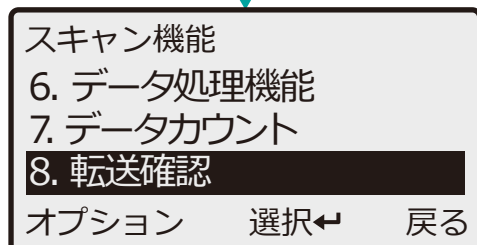
※チェックマークは「1.無効」「2.有効」どちらでも大丈夫です。

 ボタンを押してカウントをリセットします。

 ボタンを押してキャンセルできます。
前の画面に戻ります。

転送確認

コードスキャン後、機器へ自動出力するか、毎回液晶画面で確認してから出力するか設定することができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「8.転送確認」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.無効 スキャン後、確認をせず自動で機器にコードを出力します。

2.有効 スキャン後、コード内容を確認して機器に出力します。→使用例：P.45

転送確認 続き

■使用例:コード内容を確認して機器に出力します。

転送確認

1. 無効

2. 有効 ☒

選択 ← 戻る

2回押す

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション

SCAN 押す

12:34:56 10月10日 金曜日

[SCAN] ボタンを押して利用
してください

オプション

12:34:56

4969887808269

オプション 承認

押す

接続機器に入力したコード内容が送信されます。

「8.転送確認」の「2.有効」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

バッチ範囲外

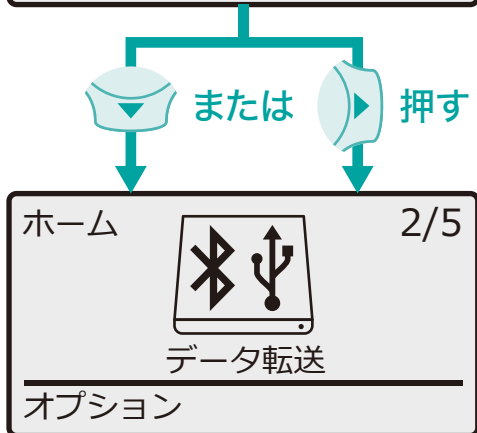
Bluetooth接続が切れたままスキャンしてもコードリーダーにスキャンデータを保存して、再度接続後、データを自動で接続機器に出力する設定ができます。

※初期設定ではBluetooth接続が切れた場合、スキャンデータは保存されません。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ転送」画面に移ります。

 押す



「1. Bluetooth」にチェックを入れます。

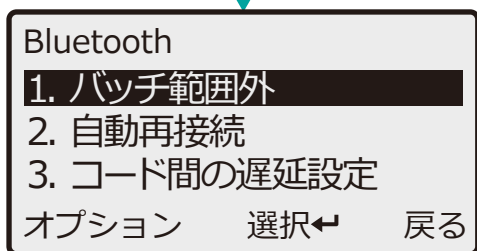


ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

 押す



「1. バッチ範囲外」を選択します。

 押す

バッチ範囲外 続き

バッチ範囲外

1. 無効



2. 有効

使用容量：0 バイト

消去

選択←

戻る

バッチ範囲外の設定をします。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.無効

Bluetooth通信外になった際、スキャンしてもコード内容を保存しません。

2.有効

Bluetooth通信外になった際、スキャンするとコード内容はコードリーダーに保存されます。再度Bluetooth接続後に保存されたコード内容が自動で接続機器に出力されます。

使用容量:0バイト

保存したコードのデータ容量を表示します。

バッチ範囲外 続き

■使用例:Bluetooth通信外でスキャンしたコードデータを保存する

バッチ範囲外

1. 無効

2. 有効 ☒

使用容量: 0 バイト

消去 選択 ← 戻る

2回押す

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション

SCAN 押す

12:34:56 10月10日 金曜日

[SCAN] ボタンを押して利用
してください

オプション

12:34:56

4969887808269

オプション

12:34:56

4969887808269

オプション

「バッチ範囲外」の「2.有効」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

【Bluetooth通信範囲外】

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

複数コードがある場合は続けて



ボタンを押して読み取ります。

【Bluetooth通信範囲内】

自動的に接続機器に保存したコード内容が出力されます。

バッチ範囲外 続き

■使用例:Bluetooth通信外でスキャンしたコードデータを消去する

バッチ範囲外

1. 無効

2. 有効 ☒

使用容量: 0 バイト

消去 選択 ← 戻る

← 2回押す

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション

SCAN 押す

📶 12:34:56

10月10日 金曜日

[SCAN] ボタンを押して利用
してください

オプション

📶 12:34:56

4969887808269

オプション

← 押す

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション

「バッチ範囲外」の「2.有効」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

【Bluetooth通信範囲外】

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

複数コードがある場合は続けて



ボタンを押して読み取ります。

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

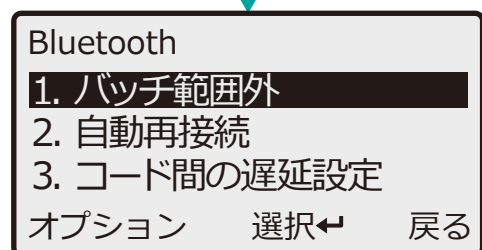
バッチ範囲外 続き



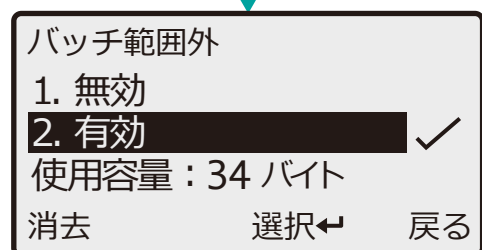
「データ転送」画面に移ります。



「1. Bluetooth」を選択します。

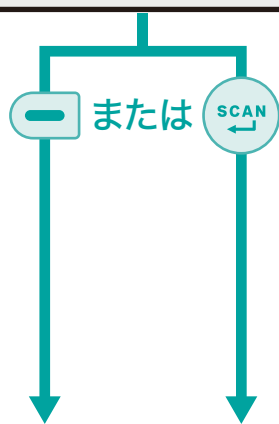


「1. バッチ範囲外」を選択します。



「1. バッチ範囲外」の画面に移ります。

※チェックマークは「1.無効」「2.有効」どちらでも大丈夫です。



バッチ範囲外 続き

注意：範囲外データをクリアしますか？

はい

いいえ



バッチ範囲外

1. 無効

2. 有効 ✓

使用容量：0 バイト

消去

選択 ←

戻る

保存データを削除するか聞かれます。



ボタンを押してキャンセルできます。

前の画面に戻ります。

保存データが削除され、使用容量が0バイトになります。

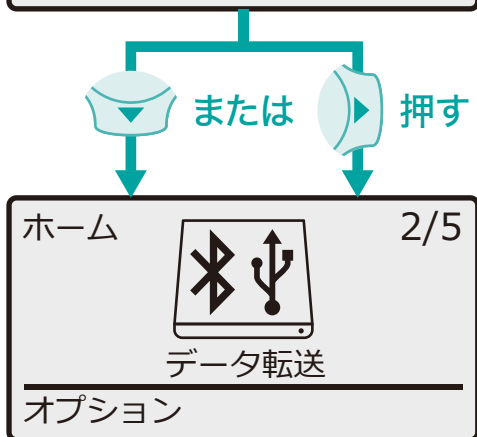
自動再接続

コードリーダーを起動した際、最後に接続していたBluetooth機器と自動再接続できません。自動再接続をOFFにすることもできます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ転送」画面に移ります。

押す



「1. Bluetooth」にチェックを入れます。

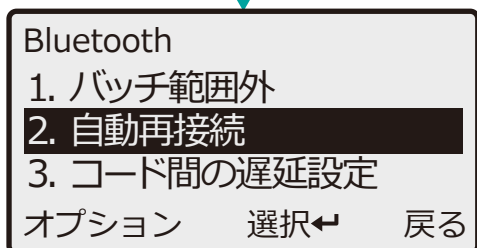


ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

押す



「2.自動再接続」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

押す

自動再接続 続き

自動再接続

1. 無効
2. 有効 ✓

選択 ← 戻る

Bluetooth自動再接続設定をします。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.無効

コードリーダーを起動した際、機器とのBluetooth接続をしません。

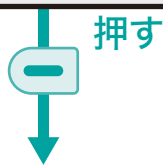
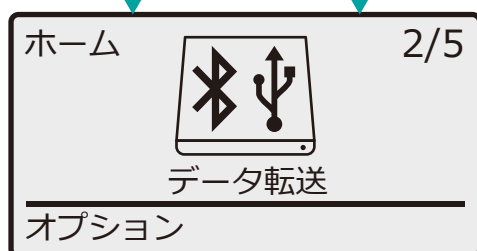
2.有効

コードリーダーを起動した際、最後に接続していたBluetooth機器と自動再接続します。

▶ データ転送>Bluetooth>コード間の遅延設定

コード間の遅延設定(Bluetooth)

コードリーダーからBluetooth接続機器にデータを送る際の転送速度を設定できます。接続機器のデータ処理能力によりコードとコードの間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「データ転送」画面に移ります。

機能別 目次へ

目的別 目次へ

コード間の遅延設定(Bluetooth) 続き

データ転送

1. Bluetooth	✓
2. USB HIDキーボード	
3. USB Virtual COM	

オプション 選択← 戻る



押す

Bluetooth

1. バッチ範囲外
2. 自動再接続
3. コード間の遅延設定

オプション 選択← 戻る



押す

0_ *100ms

0	1	2	3	4
5	6	7	8	9

OK 選択← 削除

入力したら  押す

「1. Bluetooth」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「3.コード間の遅延設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

コードリーダーからBluetooth接続機器にデータを送る際の転送速度を設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



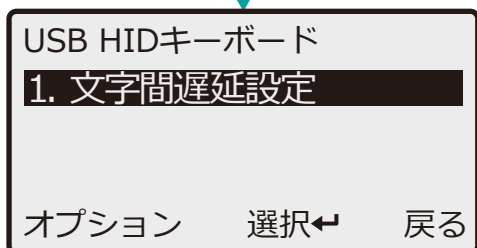
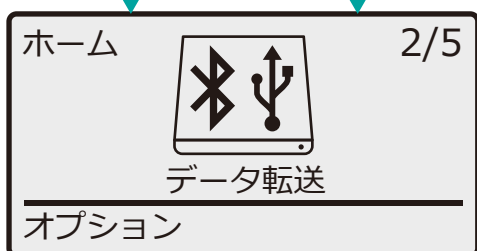
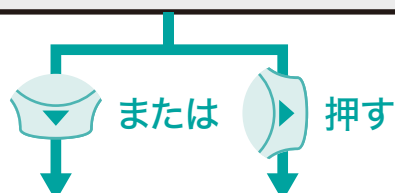
ボタンを押すと入力した数値を消します。

※0～99まで設定できます。(100ms計算)

※接続機器のデータ処理能力によりコードとコードの間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。

文字間遅延設定(USB HIDキーボード)

コードリーダーからUSB接続機器にデータを送る際の転送速度を設定できます。接続機器のデータ処理能力によりコードとコードの間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「データ転送」画面に移ります。

「2.USB HIDキーボード」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「1.文字間遅延設定」を選択します。

文字間遅延設定(USB HIDキーボード) 続き

0_ms
0 1 2 3 4
5 6 7 8 9
OK 選択← 削除

入力したら  押す

コードリーダーから有線接続機器にデータを送る際の転送速度を設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

※接続機器のデータ処理能力によりコードとコードの間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。

USB Virtual COM

USBの仮想COMポート接続をする際に使用します。

※ソフトが必要になる場合がありますので、その場合はソフトをご用意ください。

ソフトがある場合は、まずはVIRTUAL COMのソフトを
接続機器にインストールしてください。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



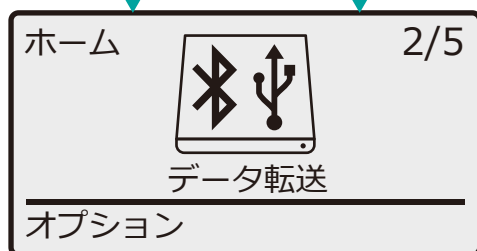
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



または



押す



「データ転送」画面に移ります。



押す



「3.USB Virtual COM」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。

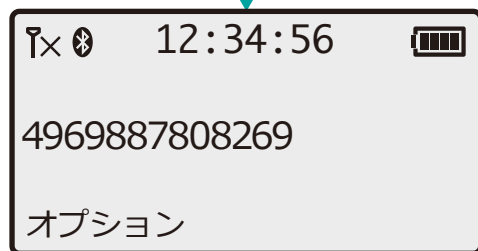
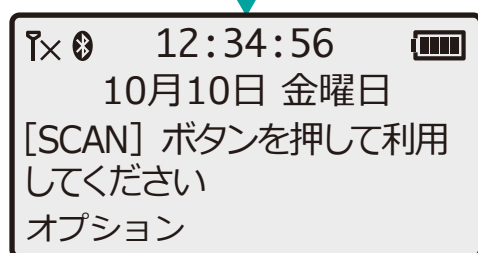


ボタンを押してチェックマークを入れます。



押す

USB Virtual COM 続き



ホームの「スキャン機能」画面に戻ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

コードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



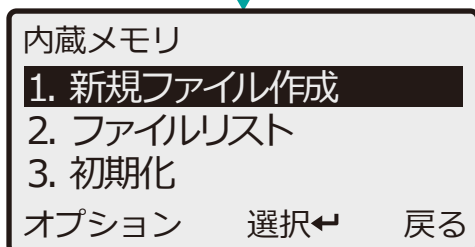
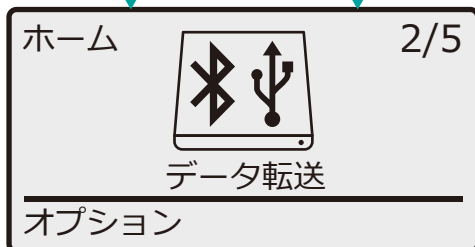
ボタンを押して読み取ってください。

読み取ったコードが液晶画面に表示されます。

VIRTUAL COMの取扱説明書に従って操作してください。

新規ファイル作成

スキャンデータをコードリーダーに保存する際のファイルを作成します。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「4.内蔵メモリ」にチェックを入れます。

ボタンを押してカーソルを動かします。

ボタンを押してチェックマークを入れます。

有線接続中に「4.内蔵メモリ」にチェックを入れると接続機器に記録メディアとして接続されます。→P.123

「1.新規ファイル作成」を選択します。

新規ファイル作成 続き



入力したら  押す



ファイルリストに作成したファイルが追加されます。

読み取ったコード内容を保存するファイルの名前を作成します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。

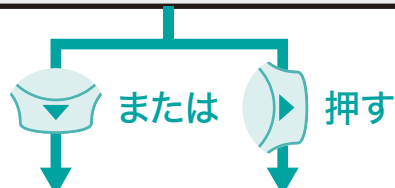


ボタンを押すと入力した数値を消します。

▶ データ転送>内蔵メモリ>ファイルリスト

ファイルリスト(データ保存先を設定する)

コードリーダー内に作成されたファイルリストを確認します。
チェックマークを入れてスキャンデータの保存先として設定できます。



 押す

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「データ転送」画面に移ります。

ファイルリスト(データ保存先を設定する) 続き

データ転送

- 2. USB HIDキーボード
- 3. USB Virtual COM
- 4. 内蔵メモリ ✓

オプション 選択← 戻る



押す

内蔵メモリ

- 1. 新規ファイル作成
- 2. ファイルリスト
- 3. 初期化

オプション 選択← 戻る



押す

TXT ファイル

- TARGET .TXT
- 250408-T .TXT ✓
- 250408-F .TXT

オプション 選択← 戻る

「4.内蔵メモリ」にチェックを入れて選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「2.ファイルリスト」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

データを保存するファイルに
チェックを入れて設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

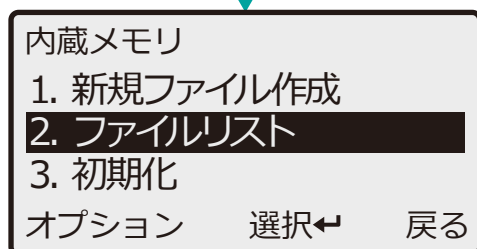
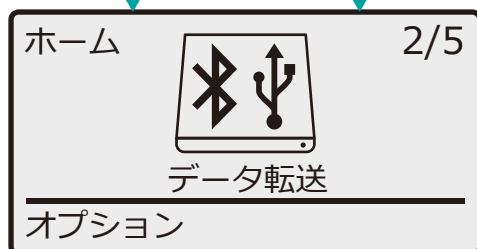


ボタンを押してチェックマークを入れます。

チェックマークを入れたファイルにスキャンデータが保存されます。

ファイル削除

作成したファイルの削除を行います。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「データ転送」画面に移ります。

「4.内蔵メモリ」にチェックを入れます。

ボタンを押してカーソルを動かします。

ボタンを押してチェックマークを入れます。

「2.ファイルリスト」を選択します。

ボタンを押してカーソルを動かします。

ファイル削除 続き

TXT ファイル		
TARGET	.TXT	
250408-T	.TXT	✓
250408-F	.TXT	
オプション	選択←	戻る



250408-T.TXT		
1. ファイル削除		
2. ファイルの初期化		
オプション	選択←	戻る



注意:このファイルを削除 しますか?	
はい	いいえ

削除するファイルにチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「1.ファイル削除」を選択します。



ボタンを押してファイルを削除します。



ボタンを押してキャンセルできます。

前の画面に戻ります。

ファイルの初期化

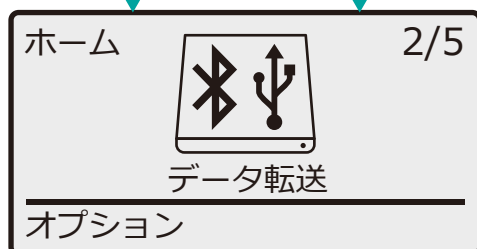
ファイルの内容を全削除します。※ファイルは残ります。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ転送」画面に移ります。



「4.内蔵メモリ」にチェックを入れます。



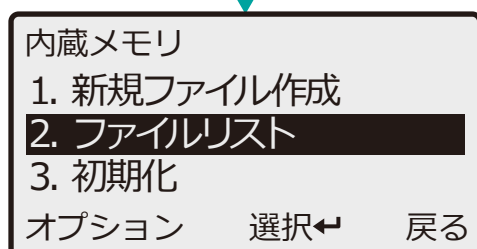
ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。



有線接続中に「4.内蔵メモリ」にチェックを入れると接続機器に記録メディアとして接続されます。→P.123



「2.ファイルリスト」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ファイルの初期化 続き

TXT ファイル

TARGET	.TXT	
250408-T	.TXT	✓
250408-F	.TXT	

オプション 選択← 戻る



250408-T.TXT

1. ファイル削除
2. ファイルの初期化

オプション 選択← 戻る



注意:このファイルを初期化
しますか?

はい いいえ

内容を削除するファイルにチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「2.ファイルの初期化」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してファイルの内容を全削除します。

※保存されているデータのみ削除され、ファイルは
残ります。

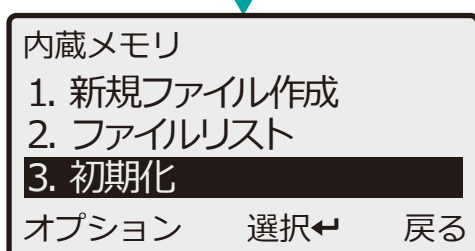
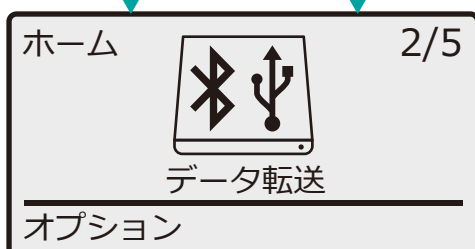


ボタンを押してキャンセルできます。前の画面に戻ります。

初期化

内蔵メモリ>ファイルリストのファイルを全削除します。

※「TARGET.TXT」は保存内容は削除されますが、ファイルは残ります。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「データ転送」画面に移ります。

「4.内蔵メモリ」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

有線接続中に「4.内蔵メモリ」にチェックを入れると接続機器に記録メディアとして接続されます。→P.123

「3.初期化」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

初期化 続き

注意：内蔵メモリを初期化します。全てのデータが消えますがよろしいですか？

はい

いいえ

 ボタンを押してファイルを全削除します。

※「TARGET.TXT」のみ残り、他のファイルを全削除します。「TARGET.TXT」の保存内容は削除されます。

 ボタンを押してキャンセルできます。前の画面に戻ります。

バッチデータ送信

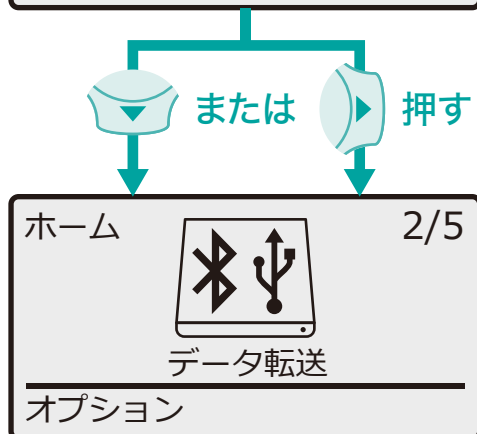
！ 接続機器とBluetooth接続してください。

Bluetooth通信でコードリーダーに保存したスキャンデータをファイルごとに機器に送信します。

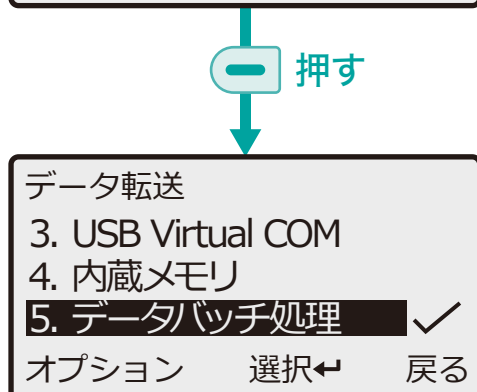


ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

🔍 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ転送」画面に移ります。



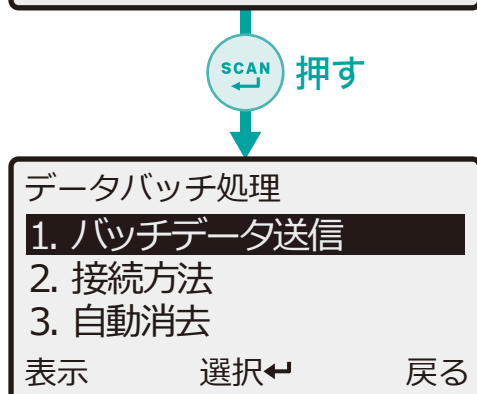
「5.データバッチ処理」にチェックを入れます。



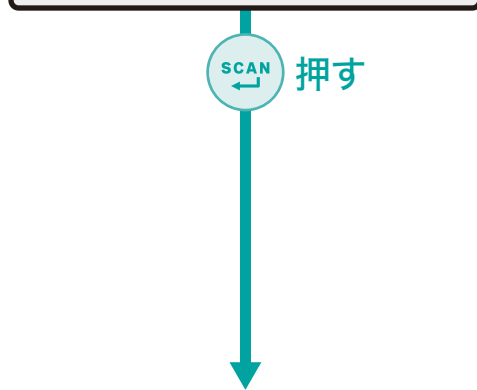
ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。



「1.バッチデータ送信」を選択します。



バッチデータ送信 続き

現在の通信接続状況を確認してください。

はい

いいえ

 ボタンを押してコードリーダーに保存したデータを接続機器に送信します。

 ボタンを押してキャンセルできます。
前の画面に戻ります。

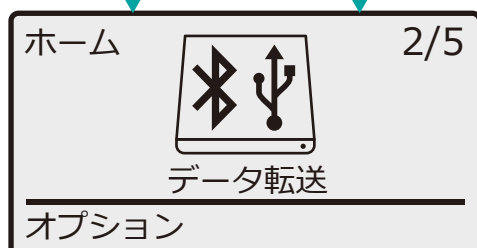
 **接続機器とBluetooth通信中にしておく必要があります。**

▶ データ転送>データバッチ処理>接続方法

接続方法

Bluetooth接続、USB有線接続を設定できます。

 **機器との接続方法とこの設定が合っていないと、コードリーダーが正常に動作しません。**



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「データ転送」画面に移ります。

[機能別 目次へ](#)

[目的別 目次へ](#)

接続方法 続き

データ転送

3. USB Virtual COM

4. 内蔵メモリ

5. データバッチ処理



オプション

選択←

戻る

SCAN

押す

データバッチ処理

1. バッチデータ送信

2. 接続方法

3. 自動消去

表示

選択←

戻る

SCAN

押す

接続方法

1. Bluetooth



2. USB HIDキーボード

3. USB Virtual COM

選択←

戻る

「5.データバッチ処理」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「2.接続方法」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

接続方法を設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1. Bluetooth

Bluetooth接続をする際に選択します。

2. USB HIDキーボード

有線接続をする際に選択します。

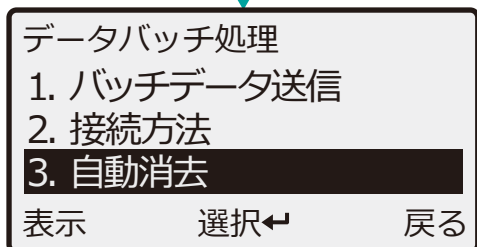
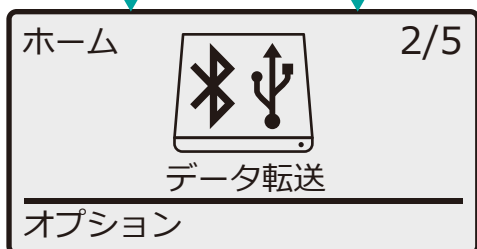
3. USB Virtual COM

特定の機器と接続する際に選択します。

※VIRTUAL COMのソフトをインストールする必要があります。

自動消去

スキャンデータを機器に出力後、コードリーダーからデータを削除できます。
※初期設定ではデータを出力後もコードリーダー内にデータが残ります。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「データ転送」画面に移ります。

「5.データバッチ処理」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「3.自動消去」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

自動消去 続き

自動消去

1. 無効 ✓

2. 有効

選択 ← 戻る

機器出力後の読み込んだコードデータの設定をします。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.無効

機器出力後もコードリーダー内にデータが残ります。

2.有効

機器出力後、コードリーダーからデータは削除されます。

▶ データ転送>データバッチ処理>コード間の遅延設定

コード間の遅延設定(データバッチ処理)

コードリーダーの保存データを接続機器に送る際の転送速度を設定します。
コード間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ホーム 2/5

データ転送

オプション

「データ転送」画面に移ります。



機能別 目次へ

目的別 目次へ

コード間の遅延設定(データバッチ処理) 続き

データ転送
3. USB Virtual COM
4. 内蔵メモリ
5. データバッチ処理 ✓
オプション 選択← 戻る



押す

データバッチ処理
2. 接続方法
3. 自動消去
4. コード間の遅延設定
オプション 選択← 戻る



押す

0_ *100ms
0 1 2 3 4
5 6 7 8 9
OK 選択← 削除

入力したら  押す

「5.データバッチ処理」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

「4.コード間の遅延設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

コードリーダーからBluetooth接続機器にデータを送る際の転送速度を設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

※0～99まで設定できます。(100ms計算)

※コード間の出力時間間隔が短すぎるとデータ欠損になる可能性があります。その場合、遅延を大きめに設定する必要があります。

Bluetooth

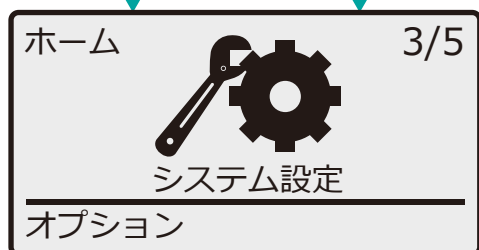
Bluetooth機器と接続した際のキーボード配列を設定します。



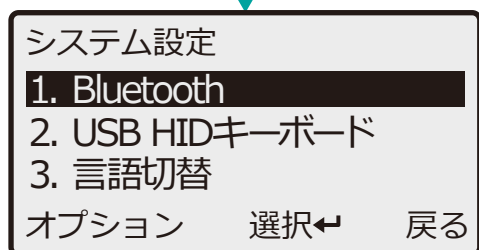
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「システム設定」画面に移ります。



「1. Bluetooth」を選択します。



Bluetooth 続き



ご使用のキーボードレイアウトを設定をします。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.HID

対応OSで使用可能なキーボードを使用する際に設定します。

キーボードレイアウトは「9.日本語版」を選択してください。

※状況に合わせてキーボードレイアウトは変更をしてください。

2.SPP

専用ソフトウェアが別途必要です。→使用例:P.76

3.BLE Slave

BLEモードしか対応しない時に使用します。BLEモードの受信器(パソコンなどと接続)、設定するとBluetooth BLEデバイスとして検索されます。

4.ベース

使用しません。

5.BLE Master

使用しません。

Bluetooth 続き

■使用例:SPPのキーボードレイアウトを設定する

Bluetooth

1. HID

2. SPP ✓

3. BLE Slave

オプション 選択← 戻る



SPPリスト

検索 接続



SPPリスト

A1B2C3D4E5F6G7

H8I9J1K2L3M4N5

検索 接続



BT MAC:

A1B2C3D4E5F6G7

戻る

「1.Bluetooth」の「2.SPP」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

SPPモード接続設定します。

「検索」して近くのSPP設備リストを表示さします。

表示されたら使用する設備を選択し、「接続」します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

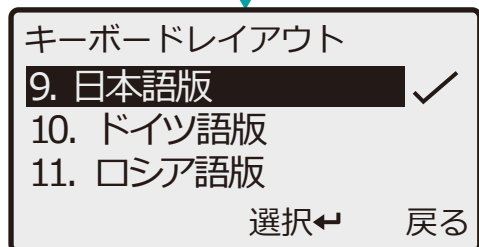
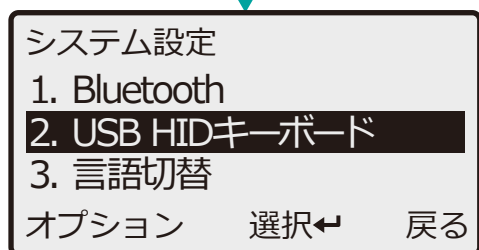
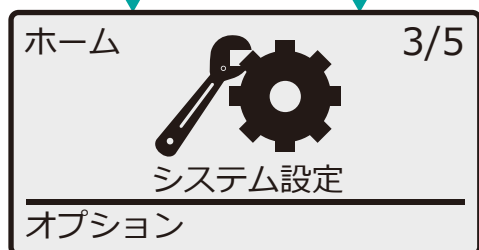


ボタンを押して選択します。

SPPモード接続されます。

USB HIDキーボード

有線接続した際のキーボード配列を設定します。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「システム設定」画面に移ります。

「2.USB HIDキーボード」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

ご使用のキーボードレイアウトを選択してチェックマークを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

言語切替

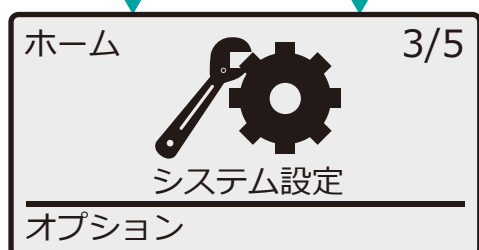
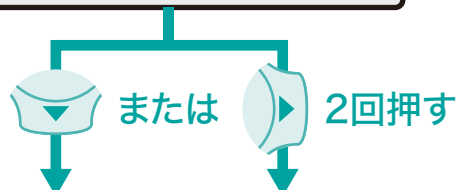
液晶画面に表示される言語を設定します。



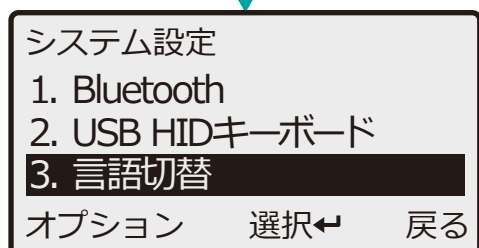
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



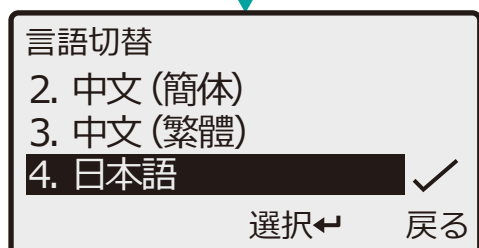
「システム設定」画面に移ります。



「3.言語切替」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



表示させたい言語を選択してチェックマークを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

文字エンコーディング

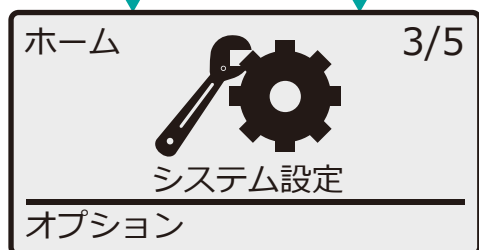
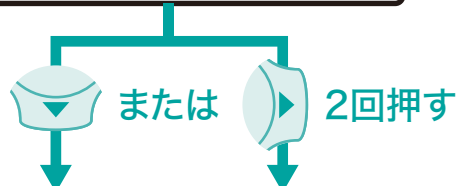
スキャンコードのエンコード形式を設定します。※初期設定はUTF-8です。



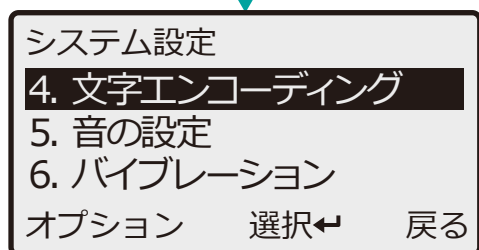
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



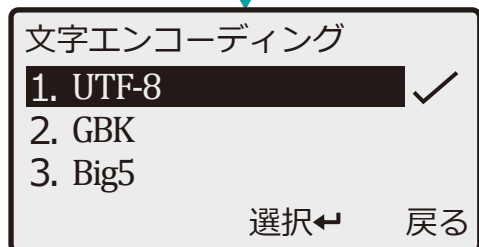
「システム設定」画面に移ります。



「4.文字エンコーディング」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



設定したい文字エンコーディングを選択してチェックマークを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

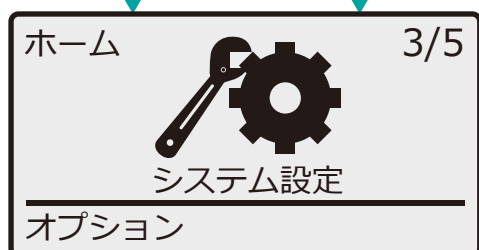
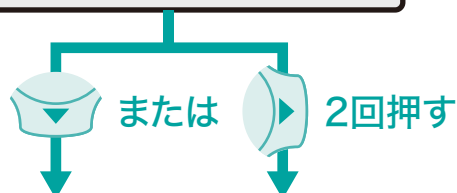
音の設定

起動時、スキャン時のビープ音のボリュームを設定できます。
ビープ音をOFFにすることもできます。

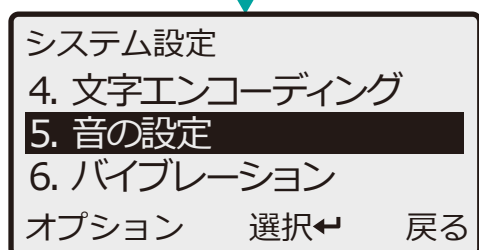


ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「システム設定」画面に移ります。



「5.音の設定」を選択します。

 ボタンを押してカーソルを動かします。



音の設定 続き

音の設定

- 1. 音量 ✓
- 2. 操作音

オプション 選択 ← 戻る

音の設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して文字を入力します。

1.音量

起動時のビープ音、読み取り音の音量を設定します。弱・中・強・なしから設定できます。

2.操作音

操作音のOFF(無効)、ON(有効)ができます。

■使用例:起動時のビープ音、読み取り音をOFFにする

音量

- 2. 中
- 3. 強
- 4. なし ✓

選択 ← 戻る

「1.音量」の「4.なし」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

■使用例:操作音をONにする

操作音

- 1. 無効
- 2. 有効 ✓

選択 ← 戻る

「2.操作音」の「2.有効」にチェックを入れます。



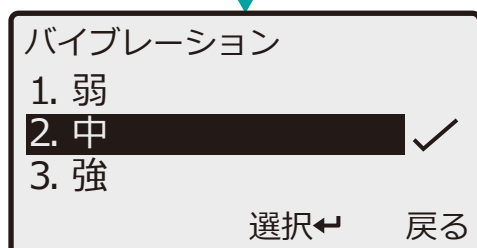
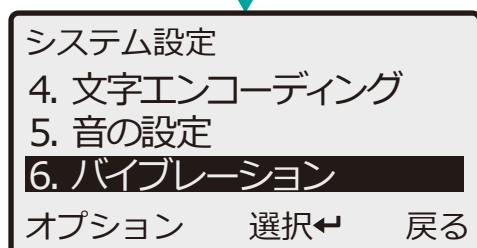
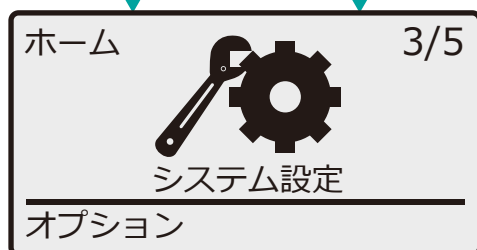
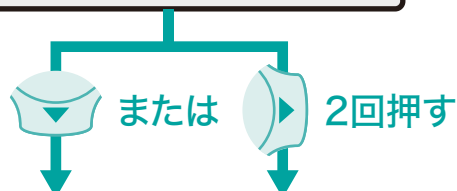
ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

バイブレーション

読み取りの際のバイブレーションの強さを調整します。
バイブレーションなしにすることもできます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

「システム設定」画面に移ります。

「6. バイブレーション」を選択します。

 ボタンを押してカーソルを動かします。

読み取りの際のバイブレーションの設定をします。
弱・中・強・なしから設定できます。

 ボタンを押してカーソルを動かします。

 ボタンを押してチェックマークを入れます。

ディスプレイ設定

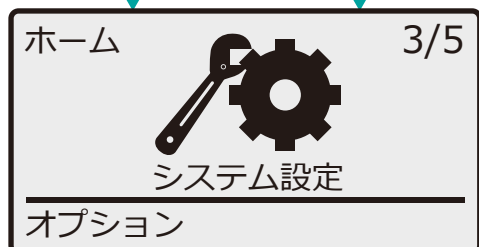
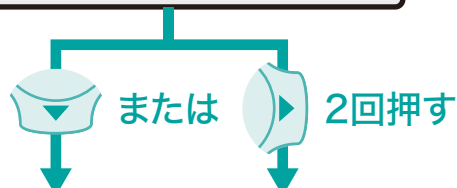
液晶画面の明るさを調整します。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



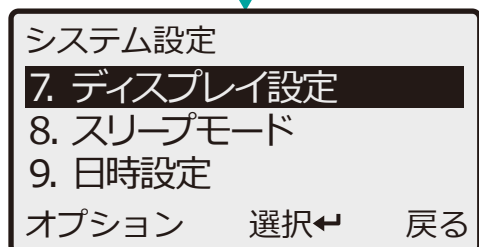
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「システム設定」画面に移ります。



押す



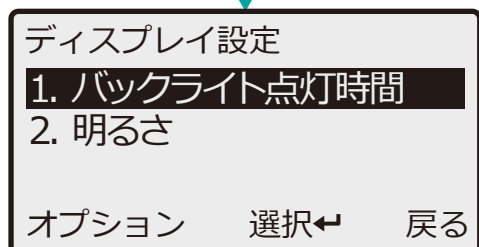
「7.ディスプレイ設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



押す



バックライトの設定をします。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.バックライト点灯時間

操作後、画面が暗くなるまでの時間を設定します。→使用例:P.84

2.明るさ

液晶画面の明るさを設定します。→使用例:P.84

ディスプレイ設定

■使用例：操作後、画面消灯しない設定にする

バックライト点灯時間

- 2. 30秒
- 3. 60秒
- 4. なし ✓

選択← 戻る

「1.バックライト点灯時間」の「4.なし」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

■使用例：画面の明るさを明るくする

明るさ

- 1. 弱
- 2. 中
- 3. 強 ✓

選択← 戻る

「2.明るさ」の「3.強」にチェックを入れます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

スリープモード

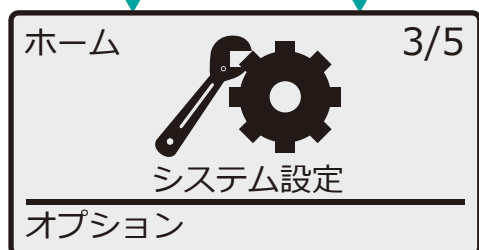
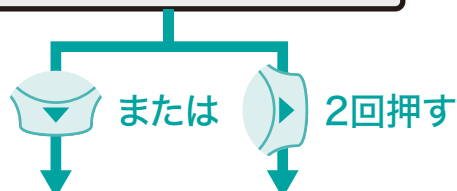
操作しなくなるとスリープモードに入るまでの時間を設定できます。
スリープモードなしにすることもできます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



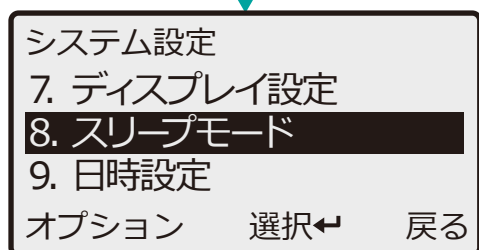
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「システム設定」画面に移ります。



押す



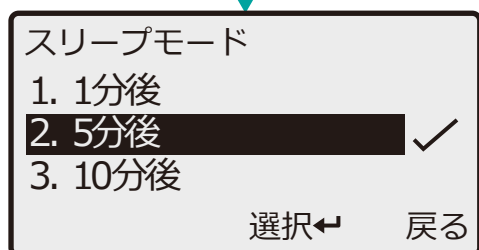
「8.スリープモード」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



押す



スリープモードの設定をします。

1分後・5分後・10分後・なしから設定できます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

日時設定

液晶画面に表示される時刻、年月日を設定できます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



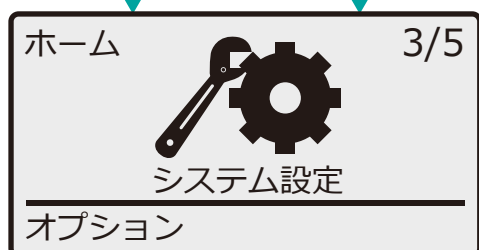
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



または



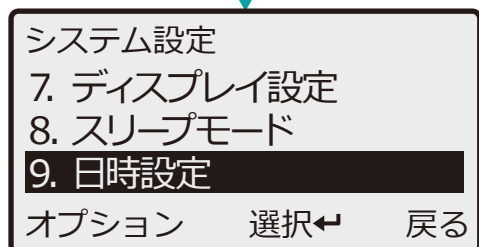
2回押す



「システム設定」画面に移ります。



押す



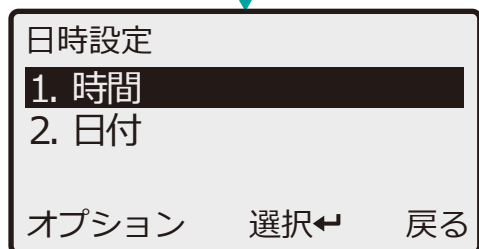
「9.日時設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



押す



時刻、日付の設定をします。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1.時間

液晶画面に表示される時間を設定します。→使用例:P.87

2.日付

液晶画面に表示される日付を設定します。→使用例:P.87

日時設定 続き

■使用例:時間を設定する

12:34_

0 1 2 3 4

5 6 7 8 9

OK 選択← 削除

入力したら  押す

「1.時間」を選択します。液晶画面に表示される時間を設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

■使用例:日付を設定します。

2025-10-10_

0 1 2 3 4

5 6 7 8 9

OK 選択← 削除

入力したら  押す

「2.日付」を選択します。液晶画面に表示される時間を設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

初期設定

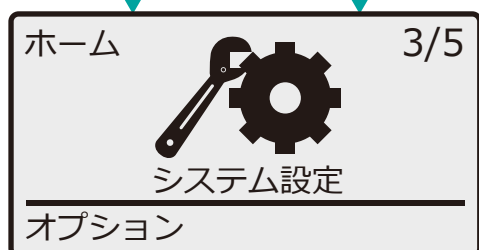
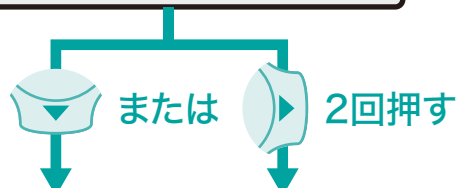
コードリーダーの設定を出荷状態に戻すことができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



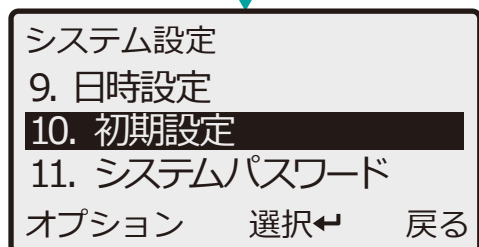
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「システム設定」画面に移ります。



押す



「10.初期設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



押す



初期設定をする部分を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

- 1.スキャナー** コードリーダーの全設定を出荷状態に戻します。→使用例:P.89
- 2.Bluetooth** Bluetooth接続機器の設定を全削除します。→使用例:P.89
- 3.ベース** 使用しません。

初期設定 続き

■使用例:コードリーダーの全設定を出荷状態に戻す

注意:初期化してもよろしいでしょうか?

はい

いいえ

「1.スキャナー」を選択し、



ボタンを押して初期化します。



ボタンを押してキャンセルできます。

前の画面に戻ります。

■使用例:Bluetooth接続機器の設定を全削除する

注意:Bluetoothを初期化してもよろしいでしょうか?

はい

いいえ

「2.Bluetooth」を選択し、



ボタンを押して初期化します。



ボタンを押してキャンセルできます。

前の画面に戻ります。

メモリー使用状況

内蔵メモリの使用容量を確認できます。メモリーを全削除することもできます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



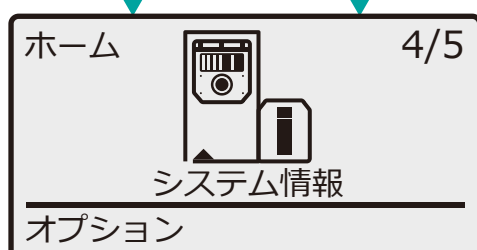
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



または



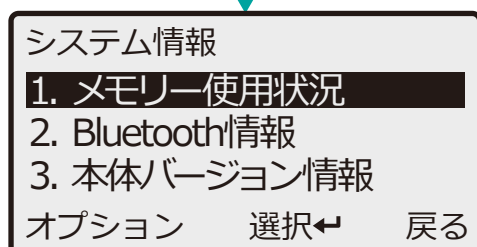
3回押す



「システム情報」画面に移ります。



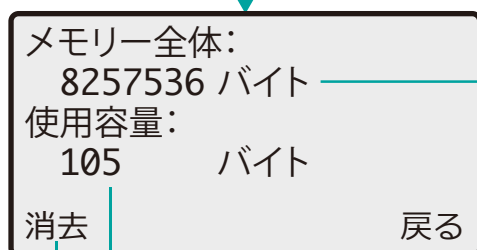
押す



「1.メモリー状況」を選択します。



押す



内蔵メモリの使用容量を確認できます。

コードリーダーの
現在の使用容量を表示

コードリーダーの
全容量を表示



ボタンで保存されているメモリーを全削除できます。

メモリー使用状況 続き

■使用例:保存されているメモリーを全削除する

システム情報

1. メモリー使用状況

2. Bluetooth情報

3. 本体バージョン情報

オプション 選択← 戻る



メモリー全体:
8257536 バイト

使用容量:
105 バイト

消去 戻る



注意:メモリーを消去して
よろしいですか?

はい いいえ

「システム情報」の「1.メモリー状況」を選択します。

内蔵メモリーの使用容量が表示されます。

 ボタンを押してメモリーを全削除します。

 ボタンを押してキャンセルできます。
前の画面に戻ります。

Bluetooth情報

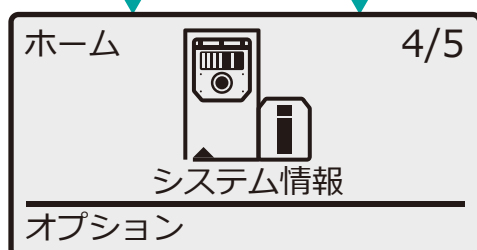
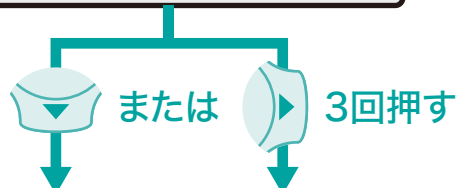
Bluetoothのバージョンなどを確認できます。



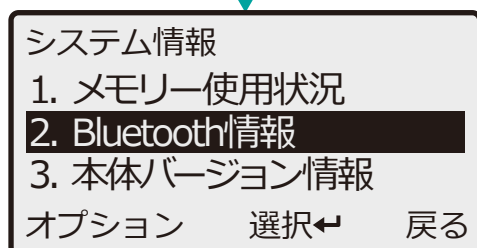
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



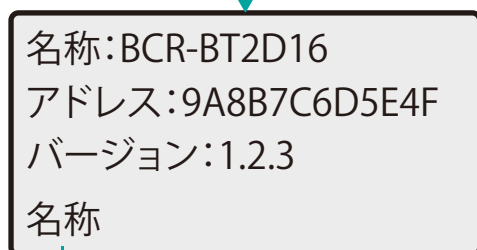
「システム情報」画面に移ります。



「2. Bluetooth情報」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



Bluetooth情報を確認できます。

※表示内容が異なることがあります。



ボタンで名称を変更できます。

Bluetooth情報 続き

■使用例:コードリーダーの名称を変更する

システム情報

1. メモリー使用状況
2. Bluetooth情報
3. 本体バージョン情報

オプション 選択← 戻る



押す

名称:BCR-BT2D16
アドレス:721A60015A62
バージョン:9.6.8
名称



押す

BCR-BT2D16_

0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	a	b	c	d	e	f	g	h
i	j	k	l	m	n	o	p	q

送信 選択← 削除

入力したら 押す

「システム情報」の「1.メモリー状況」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

Bluetooth情報を表示します。

コードリーダーの名称を変更します。Bluetooth設定時に表示されるデバイス名も変更になります。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して文字を入力します。



ボタンを押すと入力した文字を消します。

本体バージョン情報

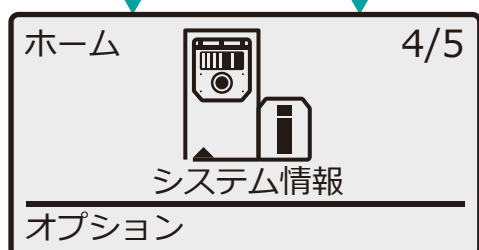
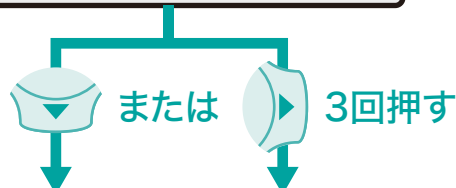
コードリーダーの名称やファームウェアの情報を確認できます。



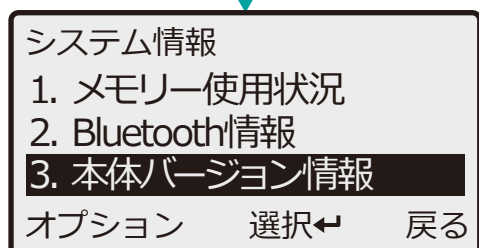
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



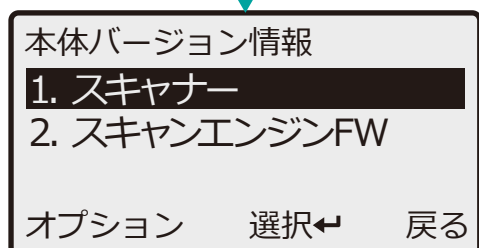
「システム情報」画面に移ります。



「3.本体バージョン情報」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



スキャナーとスキャンエンジンのFW情報が確認できます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

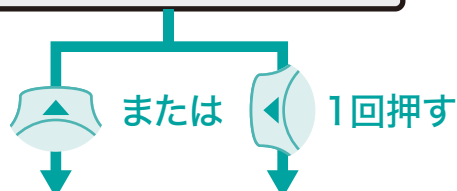
実行>照合モード選択

複数コードを読み取る際に元のコードと同じものかどうか照合することができます。
3つの照合モードから設定することができます。

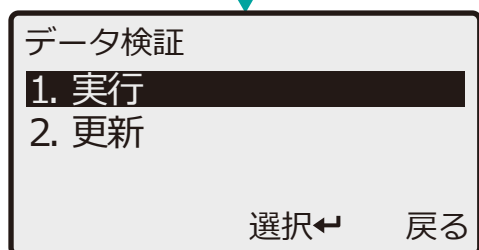


ホームの「スキャン機能」画面に移ります。

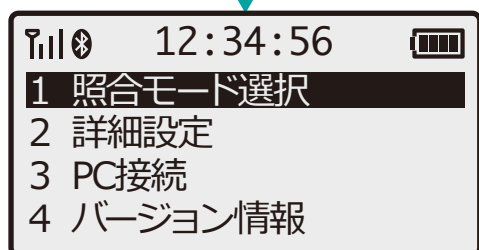
 ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ検証」画面に移ります。



「1.実行」を選択します。



「1 照合モード選択」を選択します。



実行>照合モード選択 続き

1	1:1 照合
2	1:N 照合
3	N:N 照合

戻る 選択←

照合モードを設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

ホストコード：照合元になるコード

スレーブコード：ホストコードと同じものかどうか照合されるコード

1 1:1 照合

ホストコード1つに対してスレーブコード1つが照合できます。

→使用例:P.97

2 1:N 照合

ホストコード1つに対して複数のスレーブコードを連続して照合できます。

→使用例:P.98

3 N:N 照合

複数のホストコードに対して複数のスレーブコードを連続して照合できます。

→使用例:P.100

■照合を終了させる時

「1 1:1 照合」「2 1:N 照合」

→  ボタンを押して前画面に戻ります。

「3 N:N 照合」

→  ボタンを押すと下記の画面に移ります。

N:N 照合入力	
終了しますか？	
確定	戻る

→  ボタンを押して前画面に戻ります。

機能別 目次へ

目的別 目次へ

実行>照合モード選択 続き

■使用例:ホストコード1つに対してスレーブコード1つを照合する

1 1:1 照合
2 1:N 照合
3 N:N 照合

戻る 選択←

「1 照合モード」の「1 1:1 照合」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



1:1 照合
バーコード1:
スキャン待ちバーコード...

戻る スキャン←

ホストコードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

1:1 照合
バーコード1:
4969887123456
バーコード2:スキャン待ち

戻る スキャン←

続けてスレーブコードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

同じ場合

4969887123456
照合:成功!

ホストコードとスレーブコードが同じコード内容の場合、「照合:成功!」と表示されて接続機器にコード内容が出力されます。



ボタンで前の画面に戻ります。

違う場合

4969887456789
照合:失敗!

ホストコードとスレーブコードが違うコード内容の場合、「照合:失敗!」と表示されます。コード内容は接続機器に出力されません。



ボタンで前の画面に戻ります。

実行>照合モード選択 続き

■使用例:ホストコード1つに対して複数のスレーブコードを照合する

1 1:1 照合
2 1:N 照合
3 N:N 照合

戻る 選択←

「1 照合モード」の「2 1:N 照合」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



1:N 照合
バーコード1:
スキャン待ちバーコード...

戻る スキャン←

ホストコードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

1:N 照合
バーコード1:
4969887123456
バーコード2:スキャン待ち

戻る スキャン←

続けてスレーブコードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

同じ場合

4969887123456
照合:成功!

ホストコードとスレーブコードが同じコード内容の場合、「照合:成功!」と表示されて接続機器にコード内容が出力されます。



ボタンで前の画面に戻ります。

違う場合

4969887456789
照合:失敗!

ホストコードとスレーブコードが違うコード内容の場合、「照合:失敗!」と表示されます。コード内容は接続機器に出力されません。



ボタンで前の画面に戻ります。

機能別 目次へ

目的別 目次へ

実行>照合モード選択 続き

連続してスレーブコードをスキャンして照合、出力できます。

1:N 照合
バーコード1:
4969887123456
バーコード2:スキャン待ち
戻る スキャン←

続けてスレーブコードをスキャンします。
コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

同じ場合

4969887123456
照合:成功!

ホストコードとスレーブコードが同じコード内容の場合、「照合:成功!」と表示されて接続機器にコード内容が出力されます。



ボタンで前の画面に戻ります。

違う場合

4969887456789
照合:失敗!

ホストコードとスレーブコードが違うコード内容の場合、「照合:失敗!」と表示されます。コード内容は接続機器に出力されません。



ボタンで前の画面に戻ります。

実行＞照合モード選択 続き

■使用例:複数のホストコードに対して 複数のスレーブコードを連続して照合する

手動入力…ホストコードに設定するコードを一つ一つ読み取って記憶させます

1	1:1 照合
2	1:N 照合
3	N:N 照合

戻る 選択←

「1 照合モード」の「3 N:N 照合」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



N:N 照合	
1	手動入力
2	データベース

戻る 選択←

「1 手動入力」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



N:N 照合手動入力		
ホストバーコード入力:		
合計: 000		
確定	スキャン←	戻る

ホストコードをスキャンします。
コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

N:N 照合手動入力		
ホストバーコード入力:		
4969887123456		
合計: 001		
確定	スキャン←	戻る

ホストコードが表示されます。
ホストコードの合計数がカウントされ表示されます。

同じコードが読み取られても、追加でカウントされます。

連続してホストコードをスキャンできます。
コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

[機能別 目次へ](#)

[目的別 目次へ](#)

実行>照合モード選択 続き

N:N 照合手動入力
ホストバーコード入力:
4969887654321
合計: 050
確定 スキャン← 戻る

すべてのホストコードを読み取ったら、
 ボタンを押します。

N:N 照合手動入力
スレーブバーコード入力:
スキャン待ちです...
スキャン← 戻る

続けてスレーブコードをスキャンします。
コードリーダーのスキャン部をコードに向けて
 ボタンを押して読み取ってください。

同じ場合


4969887123456
照合:成功!

ホストコードとスレーブコードが同じコード内容の場合、「照合:成功!」と表示されて接続機器にコード内容が出力されます。

 ボタンで前の画面に戻ります。

違う場合


4969887456789
照合:失敗!

ホストコードとスレーブコードが違うコード内容の場合、「照合:失敗!」と表示されます。コード内容は接続機器に出力されません。

 ボタンで前の画面に戻ります。

実行>照合モード選択 続き

■使用例:複数のホストコード1つに対して 複数のスレーブコードを連続して照合する

データベース…IDXファイルのデータをホストコードとして記憶させます。
IDXファイル作成方法:P.104



**IDXファイル名は「BT2D16」にしてください。
照合モードが使用できなくなります。**

1	1:1 照合
2	1:N 照合
3	N:N 照合
戻る 選択←	



N:N 照合	
1	手動入力
2	データベース
戻る 選択←	



「1 照合モード」の「3 N:N 照合」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

「2 データベース」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

実行>照合モード選択 続き

N:N 照合データベース
ファイル名です:BT2D16
スレーブコード:
スキャン待ちバーコード...
戻る スキャン←

コードリーダーに保存したIDXファイルのデータと照合します。

スレーブコードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて



ボタンを押して読み取ってください。

コードリーダー内に
IDXファイルのデータがない場合、
右記の画面が表示されます。

N:N 照合データベース
エラー:ファイルがありません。
ファイル名:BT2D16

確定

同じ場合



ホストコードとスレーブコードが同じ
コード内容の場合、「照合:成功!」と表
示されて接続機器にコード内容が出
力されます。



ボタンで前の画面に戻ります。

違う場合



ホストコードとスレーブコードが違う
コード内容の場合、「照合:失敗!」と表
示されます。コード内容は接続機器に
出力されません。

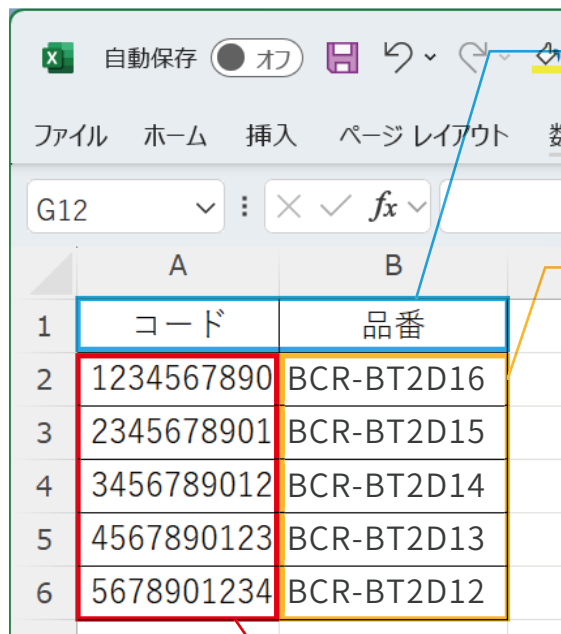


ボタンで前の画面に戻ります。

実行＞照合モード選択 続き

■IDXファイル作成方法 (Windowsのみ)：

- 1 パソコンでExcelファイルを新規作成します。
下記に従って必要なデータを入力してください。



	A	B
1	コード	品番
2	1234567890	BCR-BT2D16
3	2345678901	BCR-BT2D15
4	3456789012	BCR-BT2D14
5	4567890123	BCR-BT2D13
6	5678901234	BCR-BT2D12

1行目にはコードデータを入れないでください。
タイトルなどを入れるか、
または空欄にしてください。

B列目は空欄にしないでください。
A列目と同じコードを読み込んだ場合
(重複した場合)、
B列目入力した文字列が画面に表示されます。
コードの説明や「OK」などを入れてください。

A列目に重複読みをチェックしたい
コードデータを入れます。

- 2 Excelで「名前を付けて保存」から保存フォーマットを「CSV」にします。



**ファイル名は「BT2D16」に
してください。
照合モードが使用できなくなります。**

- 1 CSV(コンマ区切り)(*.csv) を選択
- 2 CSVファイルを保存する場所を選択
- 3 クリックして保存

※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

[機能別 目次へ](#)

[目的別 目次へ](#)

実行>照合モード選択 続き

3 弊社WEBサイトより「MS3 Database」の ドライバーをパソコンにダウンロードしてください。



① 弊社WEBサイト検索画面で
「BCR-BT2D16」を検索



② 「ソフト・ドライバー」のアイコンをクリック



③ ダウンロード要件を確認してクリック



④ 注意事項を確認してクリック

※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

機能別 目次へ

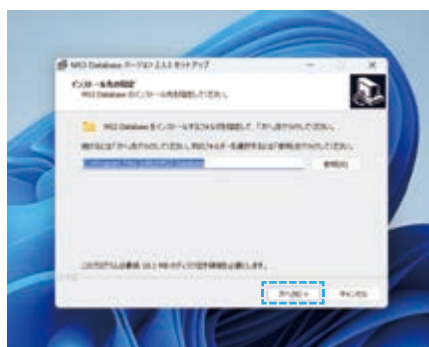
目的別 目次へ

実行>照合モード選択 続き



5 使用許諾を確認してクリック

4 「MS3 Database.exe」を開きます。
指示に従ってインストールしてください。



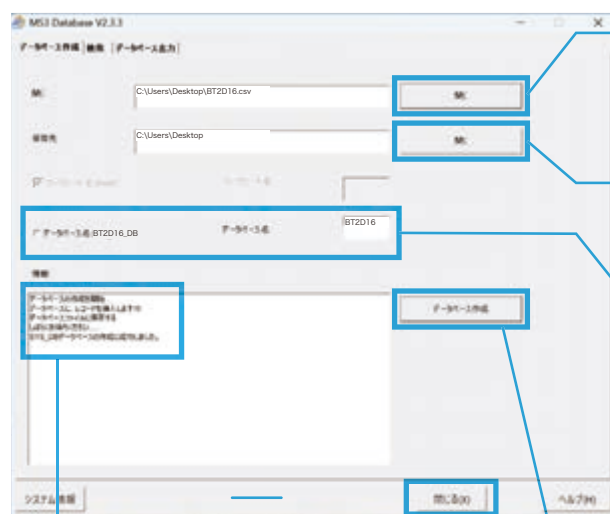
※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

機能別 目次へ

目的別 目次へ

実行＞照合モード選択 続き

- 5** 「MS3 Database」を立ち上げます。
下記の順で設定してIDXファイルを作成します。

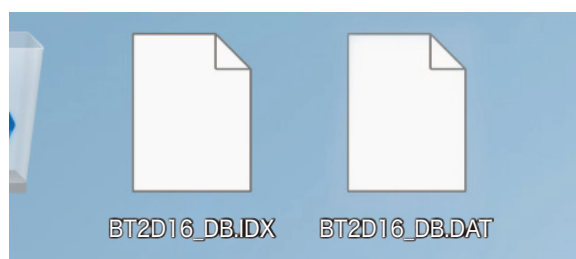


- ① クリックして先ほど保存した CSVファイルを選択します。
- ② クリックして後で作成されるIDXファイルと DATファイルの保存先を選択します。
- ③ チェックを外して データベース名を「BT2D16」にします。
- ④ クリックしてIDXファイルを作成します。



名称は「BT2D16」にしてください。
照合モードが使用できなくなります。

- ⑤ IDXファイルの作成が成功すると
「BT2D16_DBデータベースの作成に
成功しました。」と表示されて「保存先」に
設定した場所にIDXファイル、DATファイルが
作成されます。



- 6** コードリーダーを操作します。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



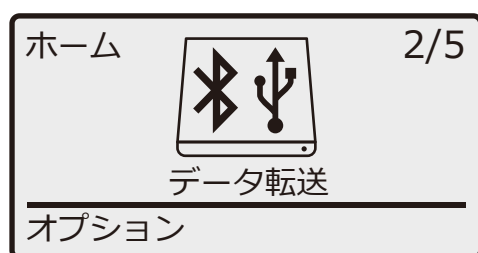
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。

※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

機能別 目次へ

目的別 目次へ

実行>照合モード選択 続き



「データ転送」画面に移ります。

「4.内蔵メモリ」にチェックを入れます。



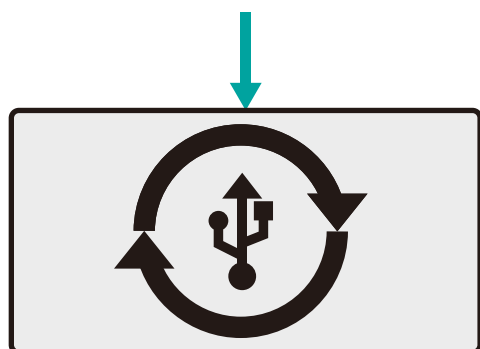
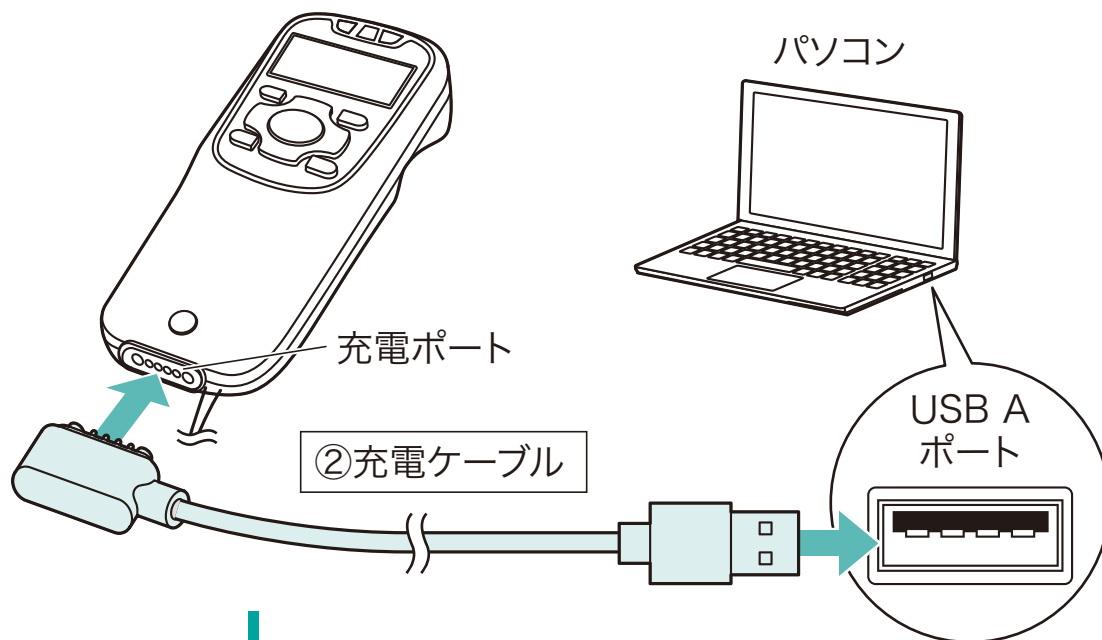
ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

7

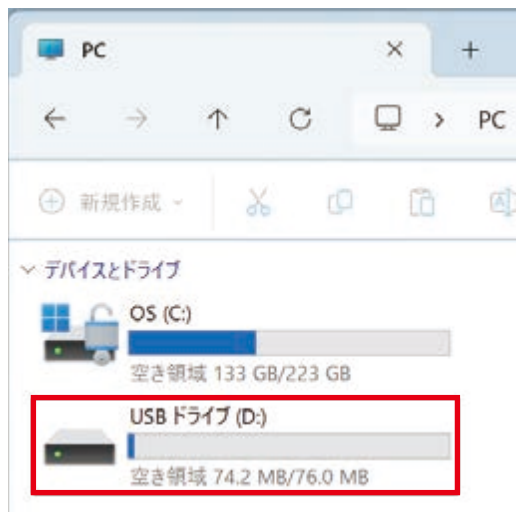
コードリーダーを付属の充電ケーブルでパソコンと接続します。



機器に記録メディアとして接続します。

実行＞照合モード選択 続き

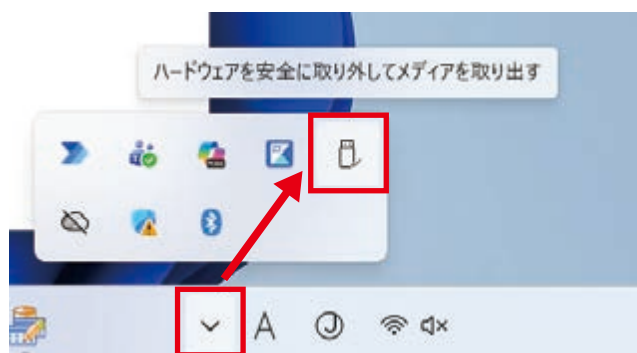
- 8 パソコンを操作します。
マウントされたコードリーダーを選択してください。



- 9 先ほど作成したDATファイルとIDXファイルをコードリーダーに入れてください。



- 10 パソコンからコードリーダーを取出します。



※ご使用の環境により、画面レイアウトや表示内容が異なることがあります。

[機能別 目次へ](#)

[目的別 目次へ](#)

実行>照合モード選択 続き

- 11** コードリーダーを操作します。
下記の手順でIDXファイルを確認できます。

ホーム 1/5

123

スキャン機能

オプション



押す

スキャン機能

4. 時間/日付付加

5. 区切り文字設定

6. データ処理機能

オプション 選択← 戻る



押す

データ処理機能

1. 無効

2. データベース検索 ✓

3. 重複読み禁止

リスト 選択← 戻る



押す

ファイルリスト

SYS DB .IDX ✓

TARGET .TXT

選択← 戻る

ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



ボタンを押してカーソルを動かし、「6.データ処理機能」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

先ほど入れたIDXファイルが表示されます。

実行＞照合モード選択 続き

スキャン機能

- 4. 時間/日付付加
- 5. 区切り文字設定
- 6. データ処理機能

オプション 選択← 戻る



データ処理機能

- 1. 無効
- 2. データベース検索 ✓
- 3. 重複読み禁止

リスト 選択← 戻る



ファイルリスト

- SYS DB .IDX ✓
- TARGET .TXT

選択← 戻る



ボタンを押してカーソルを動かし、「6.データ処理機能」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

先ほど入れたIDXファイルが表示されます。

12

N:N 照合手動入力
 ホストバーコード入力:
 4969887654321
 合計: 050
 確定 スキャン← 戻る

すべてのホストコードを読み取ったら、

 ボタンを押します。

N:N 照合手動入力
 スレーブバーコード入力:
 スキャン待ちです...
 スキャン← 戻る

続けてスレーブコードをスキャンします。

コードリーダーのスキャン部をコードに向けて

 ボタンを押して読み取ってください。

同じ場合


 4969887123456
 照合:成功!

ホストコードとスレーブコードが同じコード内容の場合、「照合:成功!」と表示されて接続機器にコード内容が出力されます。

 ボタンで前の画面に戻ります。

違う場合


 4969887456789
 照合:失敗!

ホストコードとスレーブコードが違うコード内容の場合、「照合:失敗!」と表示されます。コード内容は接続機器に出力されません。

 ボタンで前の画面に戻ります。

実行>詳細設定

照合モード中の詳細設定を行うことができます。

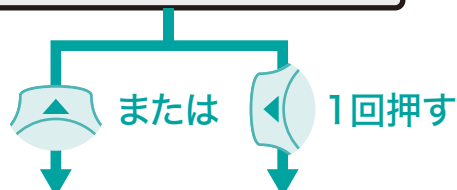
コード中の何桁目から何桁目までを照合対象にするのか(位置と長さ)、読み取る方向(方向)、エラー時に照合を続けるかどうか(読み取り停止)、照合結果の表示設定(○×表示)が変更できます。



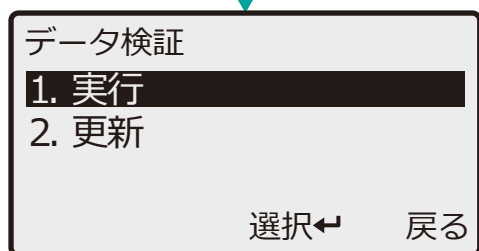
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



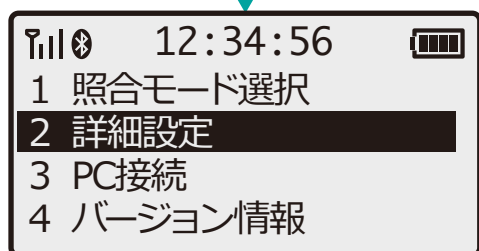
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ検証」画面に移ります。



「1.実行」を選択します。



「2 詳細設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



実行＞詳細設定 続き

- 1 位置と長さ
 - 2 方向設定
 - 3 読み取り停止
 - 4 OXひょうじ設定
- 戻る 選択←

各設定を行います。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1 位置と長さ

コード中の何桁目から何桁目までを照合対象にするのか具体的に設定できます。

2 方向設定

照合するコードの文字列を読み込む方向を「左から右」か、「右から左」か選べます。

3 読み取り停止

照合失敗した(ホストコードとスレーブコード ※1が相違がある)場合、続けてスキャンを続けるか、照合モードを終了するか設定できます。

4 OXひょうじ設定

照合結果画面で○×の表示・非表示が選べます。

※1：

ホストコード：照合元になるコード

スレーブコード：ホストコードと同じものかどうか照合されるコード

■位置と長さの設定方法

1 位置と長さ

2 方向設定

3 読み取り停止

4 OXひょうじ設定

戻る 選択←



位置と長さ

1 バーコード1開始位置

2 バーコード2開始位置

3 照合長さ

戻る 選択←



バーコード1開始位置:

001

戻る 入力



バーコード1開始位置:

001

確定 数字入力



「1 位置と長さ」を選択します。

ホストコードの照合する位置を設定します。

「1 バーコード1開始位置」を選択します。

1 バーコード1開始位置

ホストコードの照合する位置を設定します。

2 バーコード2開始位置

スレーブコードの照合する位置を設定します。

3 照合長さ

照合する桁数を設定します。

※1: ホストコード: 照合元になるコード

スレーブコード: ホストコードと同じものかどうか照合されるコード

ホストコードの何桁目からを照合対象にするか設定します。

実行＞詳細設定 続き

001
0 1 2 3 4
5 6 7 8 9
確定 選択 削除

入力したら  2回押す

バーコード1開始位置:
001
戻る 入力

 押す

位置と長さ
1 バーコード1開始位置
2 バーコード2開始位置
3 照合長さ
戻る 選択←

 押す

バーコード2開始位置:
001
戻る 入力

 押す

数値を入力してください。

※1 (001) = 1桁目から照合します。

1～255まで設定できます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

スレーブコードの照合する位置を設定します。

「2 バーコード2開始位置」を選択します。

スレーブコードの何桁目からを照合対象にするか設定します。

実行＞詳細設定 続き

バーコード2開始位置:
001
確定 数字入力



押す

001
0 1 2 3 4
5 6 7 8 9
確定 選択 削除

入力したら



2回押す

バーコード2開始位置:
001
戻る 入力



押す

位置と長さ
1 バーコード1開始位置
2 バーコード2開始位置
3 照合長さ
戻る 選択←



押す

照合長さ
0(すべてのデータ)
戻る 入力



押す

数値を入力してください。

※1(001)=1桁目から照合します。

1～255まで設定できます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

コードの何桁までを照合対象にするか設定します。

「3 照合長さ」を選択します。

スレーブコードの何桁目からを照合対象にするか設定します。

実行＞詳細設定 続き

照合長さ入力:

000

確定 数字入力



001

0 1 2 3 4

5 6 7 8 9

確定 選択 削除

入力したら  2回押す

照合長さ

13

戻る 入力



位置と長さ

1 バーコード1開始位置

2 バーコード2開始位置

3 照合長さ

戻る 選択←



1 位置と長さ

2 方向設定

3 読み取り停止

4 OXひょうじ設定

戻る 選択←

数値を入力してください。

※0＝設定した開始位置以降すべてのデータを照合します。

1＝設定した開始位置から1桁だけ照合します。

2＝設定した開始位置から2桁分照合します。

0～255まで設定できます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押して数値を入力します。



ボタンを押すと入力した数値を消します。

■読み取る方向の設定方法

- 1 位置と長さ
 - 2 方向設定
 - 3 読み取り停止
 - 4 OXひょうじ設定
- 戻る 選択←



押す

- 方向設定
- 1 左から右 ✓
 - 2 右から左
- 戻る 選択←



押す

- 1 位置と長さ
 - 2 方向設定
 - 3 読み取り停止
 - 4 OXひょうじ設定
- 戻る 選択←

「2 方向設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

読み取る方向の設定をします。

「1 左から右」または「2 右から左」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1 左から右

左から右に数えて、設定した開始位置から長さ分の文字列を比較して照合します。



2 右から左

右から左に数えて、設定した開始位置から長さ分の文字列を比較して照合します。



■照合失敗時の設定方法

1 位置と長さ
2 方向設定
3 読み取り停止
4 OXひょうじ設定
戻る 選択←



押す

照合失敗の時にスキャンを 停止しますか？	
1 有効にする	✓
2 無効にする	
戻る 選択←	



押す

1 位置と長さ
2 方向設定
3 読み取り停止
4 OXひょうじ設定
戻る 選択←

「3 読み取り停止」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

エラーになった時にスキャンを続行するか無効にするか設定します。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1 有効にする

照合失敗が出た場合、 ボタンを押しても続けてスキャンしません。

2 無効にする

照合失敗が出た場合でも、 ボタンを押して続けてスキャンすることができます。

実行＞詳細設定 続き

■○×表示の設定方法

1 位置と長さ

2 方向設定

3 読み取り停止

4 OXひょうじ設定

戻る 選択←



OXひょうじ設定

1 有効にする

2 無効にする

戻る 選択←



1 位置と長さ

2 方向設定

3 読み取り停止

4 OXひょうじ設定

戻る 選択←

「4 OXひょうじ設定」を選択します。



ボタンを押してカーソルを動かします。

照合結果画面で○×の表示・非表示が選べます。



ボタンを押してカーソルを動かします。



ボタンを押してチェックマークを入れます。

1 有効にする

照合結果画面に○×を表示します。

○

4969887123456

照合:成功!

2 無効にする

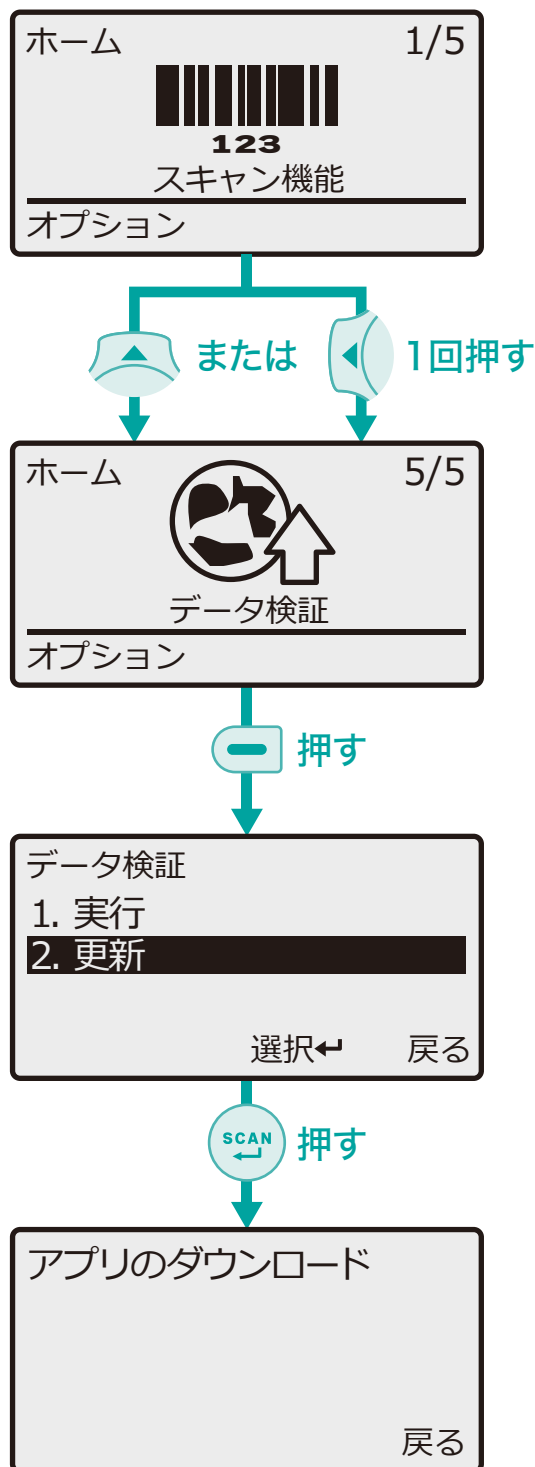
照合結果画面に○×を表示しません。

4969887789012

照合:成功!

更新

❗ この機能は基本的に使用しません。



PC接続

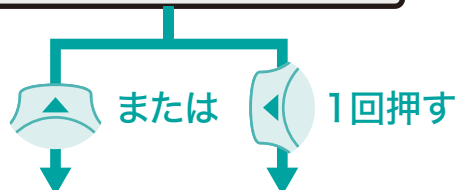
付属のケーブルを使用して記録メディアとして機器と接続することができます。



ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



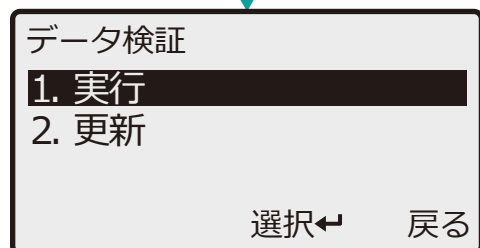
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ検証」画面に移ります。



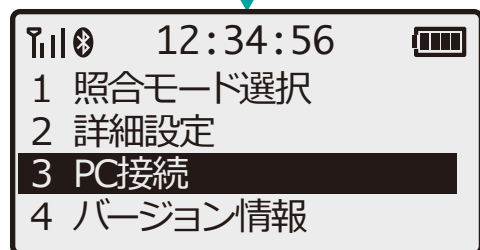
押す



「1.実行」を選択します。



押す



「3 PC接続」を選択します。



押す

PC接続 続き

PC 接続の準備は
できましたか?

はい

いい

 ボタンを押します。

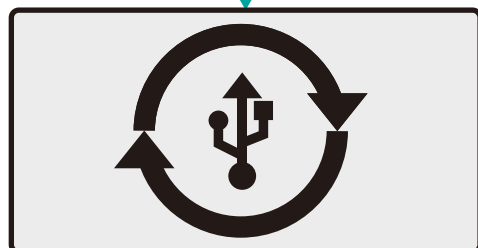
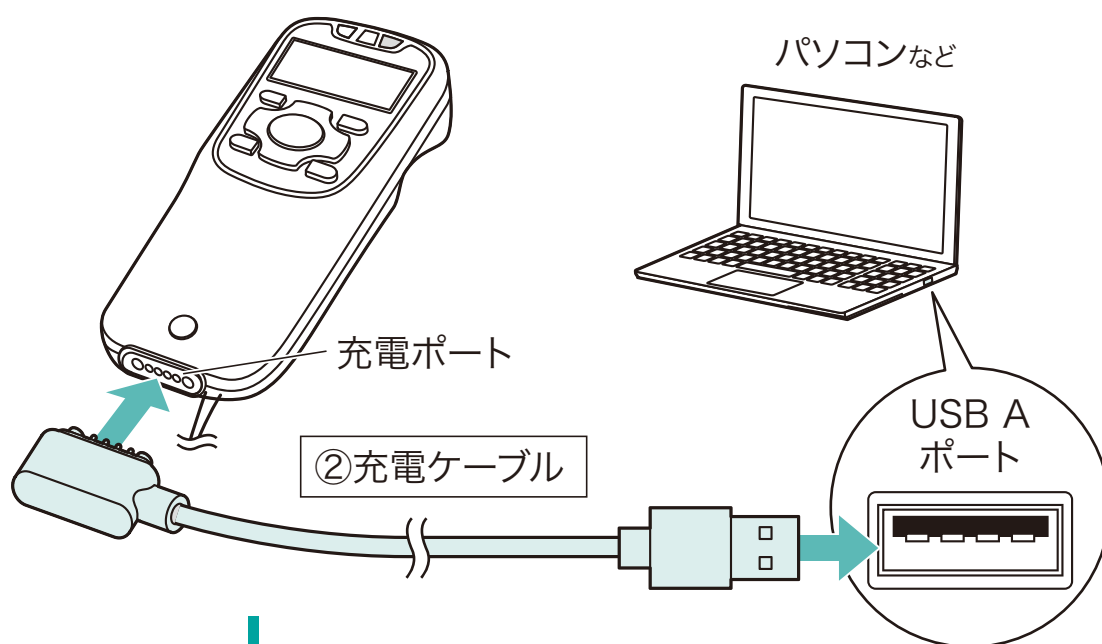
 ボタンを押してキャンセルできます。
前の画面に戻ります。

USB ケーブルで PC
と接続してください。

戻る

付属の充電ケーブルで機器と接続します。

 ボタンを押してキャンセルできます。
前の画面に戻ります。



機器に記録メディアとして接続します。
機器側で操作を行ってください。

PC接続 続き

接続機器から本製品を取外す際は、各種接続機器の取扱説明書に従ってメディアの「取り出す」操作を行ってください。

例)「▲」をクリックする、アイコンをゴミ箱に捨てる など



- 本製品を取出す際は、本製品にアクセスしているアプリケーションをすべて終了させてください。
- データ通信中に、充電ケーブルを取外さないでください。本製品の故障や、データの破損・消失の原因となります。

バージョン情報

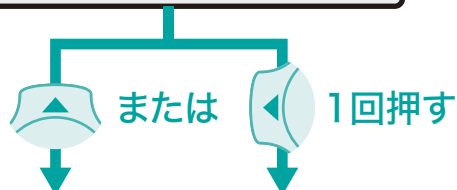
コードリーダーのバージョン情報を確認できます。



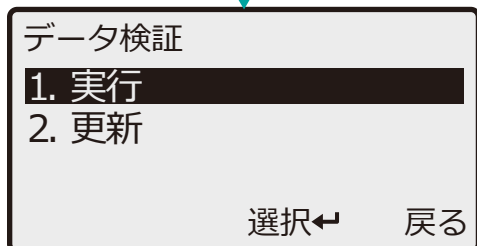
ホームの「スキャン機能」画面に移ります。



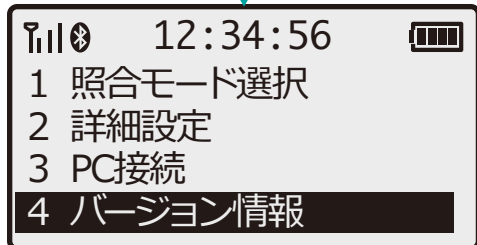
ボタンを複数回押すとホームに戻ります。



「データ検証」画面に移ります。



「1.実行」を選択します。



「4 バージョン情報」を選択します。



弊社サポートページはこちら！

■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)

■ソフトダウンロード ■各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

<https://www.sanwa.co.jp/support/support.html>

サンワサプライ株式会社

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1	TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8	TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8	TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 TM仙台ビル	TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-16-18 CUBE MEIEKI	TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア	TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
広島営業所 / 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町7-18 新井ビル	TEL.082-264-2716 FAX.082-264-2717
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3博多八百治ビル	TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CG/AJ/HA